

第23回

# 日本外来小児科学会 年次集会

こどものためのコンダクターになろう

## ガイドブック



久留米大学病院で治療を受けている  
子どもたちが描いた絵画です。

会期

2013年 **8月31日(土)**・**9月1日(日)**

前夜セミナー  
8月30日(金)

会場

**福岡国際会議場・福岡サンパレスホテル**

会長／下村 国寿(下村小児科医院) 事務局／稲光 毅(いなみつこどもクリニック)

# CONTENTS

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 会長挨拶                         | 1  |
| 年次集会概要                       | 2  |
| オータムカンファレンスのご案内              | 4  |
| タイムテーブル                      | 5  |
| 会場アクセス周辺図                    | 8  |
| 事前参加登録のご案内                   | 9  |
| 会長シンポジウム「こどものためのコンダクターになろう」  | 13 |
| 特別シンポジウム「西間三馨の喘息白熱討論会」       | 14 |
| シンポジウム                       | 15 |
| 教育講演                         | 21 |
| セミナー                         | 27 |
| ワークショップ参加登録のご案内 <b>要事前登録</b> | 32 |
| 前夜セミナー                       | 50 |
| コメディカルミーティング <b>要事前登録</b>    | 51 |
| HKT（クリニック紹介）                 | 52 |
| 一般演題募集                       | 53 |
| パネル展示募集                      | 55 |
| 患者家族の会・支援者の会 展示募集            | 56 |
| 託児のご案内 <b>要事前登録</b>          | 57 |
| 市民公開講座                       | 59 |
| 宿泊のご案内                       | 60 |
| 日本外来小児科学会への入会手続き             | 63 |

| 受付日程一覧             |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 事前参加登録             | 4月8日(月)～7月15日(月)(祝)       |
| ワークショップ事前参加登録      | <b>4月14日(日)</b> ～5月20日(月) |
| 一般演題募集             | 4月8日(月)～5月20日(月)          |
| パネル展示募集            | 4月8日(月)～6月30日(日)          |
| HKT(クリニック紹介)発表者募集  | 4月8日(月)～5月20日(月)          |
| コメディカルミーティング事前参加登録 | 4月8日(月)～8月16日(金)          |
| 託児申込               | 4月8日(月)～8月23日(金)          |
| 宿泊申込               | 4月8日(月)～7月15日(月)(祝)       |

当学会では子どもの健康を守るために禁煙を推進しております。

# 第23回日本外来小児科学会 年次集会



## こどものためのコンダクターになろう

第23回年次集会会長 下村 国寿

本年は福岡国際会議場・福岡サンパレスホテルにおいて8月30日に前夜セミナー、8月31日、9月1日に年次集会を開催します。例年同様に、本学会の4本柱であります研究、教育、診療の質の向上、アドボカシーを中心に鋭意プログラムを作成中です。以下に、今年の年次集会に向けて考えていることおよび現在までの準備状況を述べたいと思います。

本学会の特徴でありますワークショップ(WS)は40余りの部屋を用意しておりましたが、色々な分野からはほぼ同数のテーマが集まっております。議論が充実し、最終的に一定の結論や方向性を出し、会員へもフィードバックしてもらえる内容になることを期待しています。ただ、ここ数年は参加者が増加し2,500~3,000人になってきましたので、全ての方がWSに参加することは物理的に不可能です。多くの方が学会を満喫し実りあるものにして帰ることができるように、多くのシンポジウムやセミナー、教育講演を準備しています。

今年のテーマであります「こどものためのコンダクターになろう」をすでに実践し、地域社会で子どもたちの健康福祉に役立つ活動をしている方々を紹介するとともに、こどもに関する諸々の問題を取り上げて法曹関係者、学校、保育園・幼稚園、行政の方々と一緒にコラボレートする企画を準備しております。発達障害、貧困と虐待、小児の肥満、在宅医療等で、外来小児科が期待されていること、外来小児科に望まれていることを討論していただきます。また、これから本学会がより幅を広げ、より厚みを増すには勤務医の参加が必要だと考え、勤務医・開業医が議論するシンポジウムを用意しています。外来診療において身近だが疑問の多い分野、議論のある分野、新しい知見について、第一線で活躍している医師や大学で鋭意研究中の医師に議論してもらいます。

コメディカルの方の参加者が1,400人に及ぼうとしています。外来小児科診療は医師だけでなく多くのコメディカルの方に支えられて成り立っており、彼らの知識や技術の向上や思いやりの気持ちなしには子どもや家族に信頼し安心してもらえる医療は提供できません。本学会はコメディカルの方々の教育にも積極的に関わっておりますが、今回はさらに充実したプログラムを準備しています。

最後になりますが多くの研究発表をお待ちしています。一般演題の発表は土曜日の午前中ですが、医師向けのシンポジウムやセミナーは同時時間帯にはできるだけ入れないようにしています。皆で活発な議論が行われることを期待しています。

多くの会員に関心を持ってもらえるように、ガイドブックとしては詳細な内容まで記載しています。多くの方と福岡でお会いできることを期待しています。

# 年次集会概要

テーマ：こどものためのコンダクターになろう

会期：2013年8月31日(土)・9月1日(日) 〈前夜セミナー 8月30日(金)〉

会場：福岡国際会議場 / 福岡サンパレスホテル

会長：下村 国寿 (下村小児科医院)

事務局：稲光 毅 (いなみつこどもクリニック) E-mail : info@sagpj23.org

公式ウェブサイト : <http://sagpj23.umin.jp/>

こどもの健康と福祉の増進にかかわるすべての医療スタッフが、第一線で質の高い小児医療を実践するために必要な知識と技能を修得するとともに、その基礎となる外来小児科学の研究や教育の現状を知り、明日からの小児診療の向上に役立つプログラムを企画いたしました。どうぞ福岡へお越しいただき、こどもの心と体の健康を考える3日間をお楽しみください。

## ◆総会 8月31日(土) 午後

会員、非会員を問わずどなたでもご参加いただけます。総会において、徳丸實記念賞、五十嵐正紘記念賞の授与式が行われます。皆様のご出席をお願いいたします。

## ◆前夜セミナー 8月30日(金) 午後

P50

前夜セミナーとして、北九州市立八幡病院院長、小児救急医学会理事長の市川光太郎さんに「外来で帰してはいけない患児達」のタイトルでご講演いただきます。また、女性スタッフ向けに「好感の持たれるメイクアップ」実演講座を準備しました。金曜日の夕方に福岡に到着される方はお気軽にご参加ください。終了後にはウェルカムパーティーを行います。是非ご参加ください。前夜セミナー・ウェルカムパーティーともに参加費無料です。どなたでもご参加ください。

## ◆シンポジウム 8月31日(土)・9月1日(日)

P13

外来小児科学会が取り組まなければならない領域は、変化しながらも確実に広がり続けています。このような領域からいくつかの重要なテーマを選び、会場の参加者も自由に討論に加わることができるシンポジウムを企画しました。シンポジウムの成功のカギは参加者の熱意です。多数の皆様の参加でシンポジウムを盛り上げていただきたいと願っています。

特別シンポジウムとして、今回の学会のメインテーマをタイトルとした下村国寿会長主催のシンポジウム“こどものためのコンダクターになろう”、および病因の理解と治療の方法が大きく変わりつつある喘息をテーマにした“西間三馨の喘息白熱討論会”を準備しています。ご期待ください。

**◆教育講演 8月31日(土)・9月1日(日)****P21**

小児科の各分野の第一人者による、最先端の医療についての講演から、日常診療ですぐに役立つ講演まで、幅広い分野をテーマとした講演を揃えています。12の演題のなかにきっと皆様が興味をもたれる講演が見つかるはずですよ。

**◆セミナー 8月31日(土)・9月1日(日)****P27**

日常診療における身近な課題、医療スタッフ自身の健康に関する話題などを複数の専門家よりお話いただきます。

**◆ワークショップ 8月31日(土)・9月1日(日) **要事前登録******P32**

外来小児科診療の実践に直接かかわる課題について参加者全員で討論と作業を行い、一定の結論やプロダクトを得ることを目的とする企画です。本学会を特徴する企画ですので、ご自身の啓発のためにもぜひご登録ください。

**◆ランチョンセミナー 8月31日(土)・9月1日(日)**

昼食時間を利用し、小児科外来診療の実践や研究にかかわる話題を専門家よりお話しいたします。テーマは現在検討中です。整理券は当日配布いたします。

**◆一般演題 8月31日(土) 午前****P53**

日頃の研究成果を御発表ください。一般演題発表者はすべて口演とポスターをお願いします。活発な討議をお願いいたします。

**◆コメディカルミーティング 9月1日(日) 午前 **要事前登録******P51**

コメディカルのみなさん、皆で集まってかしこまらずに情報交換してみませんか。気軽に参加してください。今回は事前登録をしていただくようにしました。

**◆HKT (クリニック紹介) 8月31日(土) 午後****P52**

「ヒントをつかもう！工夫した施設の展示場」

それぞれのクリニックにとっての、ちょっとした工夫・アイデアが、他の施設にとっては、とても斬新であったりします。スライドを使って、それぞれのクリニックを紹介していただくことで、一種の“オープンクリニック”を企画してみたいと思います。

**◆パネル展示 8月31日(土)・9月1日(日)****P55**

院内報ネットワーク他の院内報(誌)、医療保育ネットワーク、オープンクリニックネットワーク、私の工夫・私の主張に加え、本学会のテーマである「こどものためのコンダクターになろう」をお題としました。地域や学校等での、こどもの健康福祉のためのご活動をご紹介します。

◆患者家族の会・支援者の会 8月31日(土)・9月1日(日)

P56

3F、4F ロビーに「患者家族の会・支援者の会」ブースが集まります。足をお運びいただき、活動をご理解いただくとともにご支援をお願いいたします。

◆託児 8月31日(土)・9月1日(日) **要事前登録**

P57

会場内に託児所を設営します。事前申し込みの方のみが利用可能です。本ガイドブック、年次集会公式ウェブサイト、プログラム抄録集で詳細をご確認ください。

◆懇親会 8月31日(土)午後 **要事前登録**

博多駅近くのホテル日航福岡で開催します。福岡の美味しい海の幸、山の幸、そしてお酒を楽しみながら、参加者同士の親睦を深めてください。皆様に楽しんでいただける企画を準備します。懇親会の後は、ゆっくりと博多の夜をお楽しみください。

◆市民公開講座 9月1日(日)午後

P59

「子育てハッピーアドバイス」シリーズの著者である明橋大二先生に「自己肯定感を育む子育てを考える」についてお話しいただきます。日常の生活の中で「自己肯定感」をどのように育てていくのか、一緒に考えてみませんか？

## オータムカンファレンスのご案内

【会期】：2013年10月27日(日)

【会場】：九州大学医学部百年講堂

### SAGPJカンファレンス2013

※2013年度は春期カンファレンスはありません。

詳細は年次集会公式ウェブサイト  
(<http://sagpj23.umin.jp/>) をご覧ください。



# 1日目 8月31日(土)

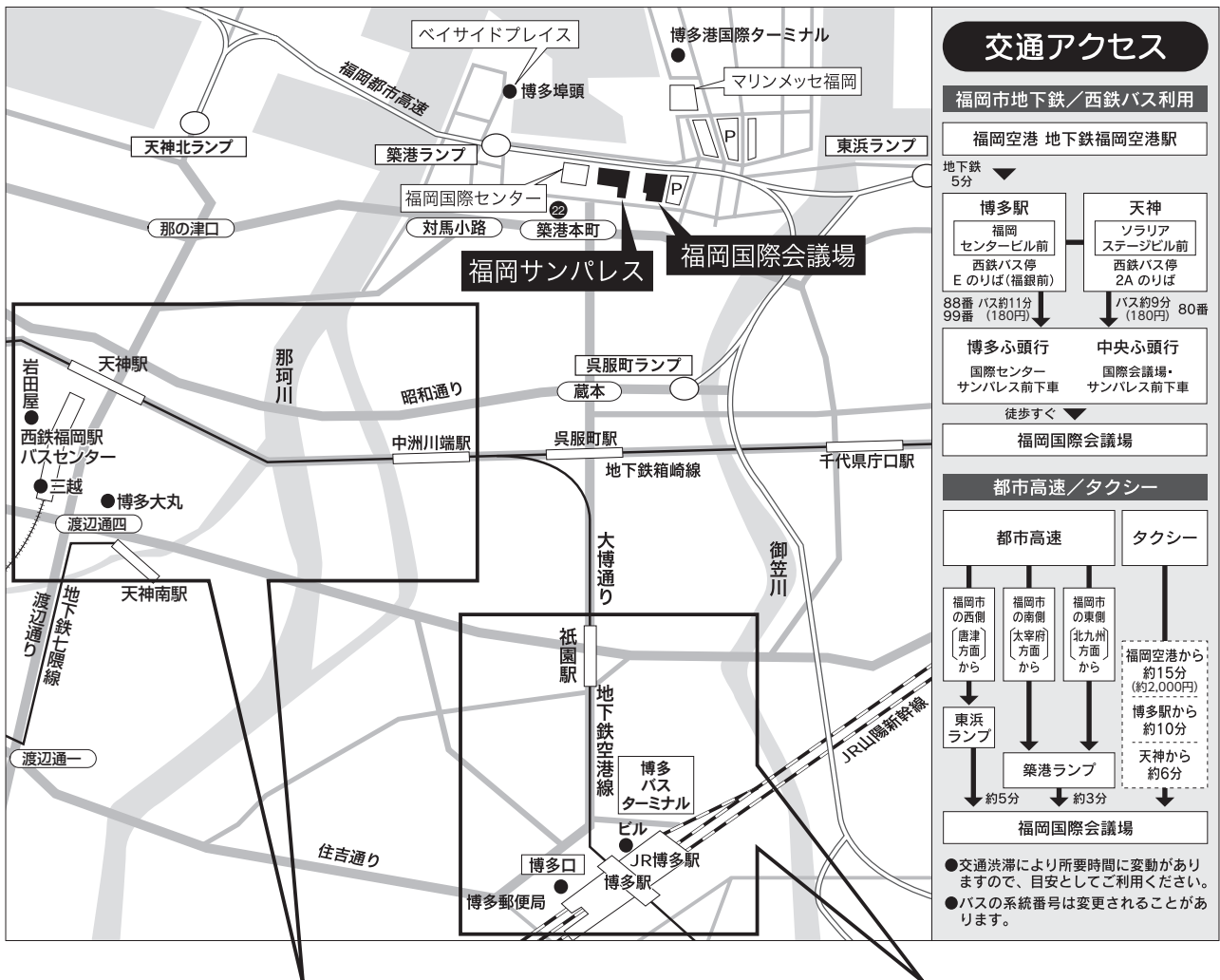
| 施設      | 階       | 会場名       | 8:00                       | 9:00          | 10:00         | 11:00  | 12:00    | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00  | 20:00        | 21:00   |  |  |  |
|---------|---------|-----------|----------------------------|---------------|---------------|--------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------------|---------|--|--|--|
| 福岡国際会議場 | 1F      | エントランスホール | 受付                         |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         | 2F      | ロビー       | パネル展示                      |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 201+202   | 企業機器展示                     |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 203       | 一般演題                       | ランチョン<br>セミナー |               |        |          |       |       |       |       |       |       | セミナー   |              |         |  |  |  |
|         |         | 204       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       | シンポジウム |              |         |  |  |  |
|         | 3F      | ロビー       | 患者家族の会・支援者の会展示 PC受付・二次抄録受付 |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | メインホール    | セミナー                       |               | ランチョン<br>セミナー | 総<br>会 | 会長シンポジウム |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         | 4F      | ロビー       | 患者家族の会・支援者の会展示             |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 401       | ワークショップ                    |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 402       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 403       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 404       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 405       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 406       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 407       |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 409+410   | 一般演題                       | ランチョン<br>セミナー |               |        |          |       |       |       |       |       |       | セミナー   |              |         |  |  |  |
|         |         | 411+412   |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       | シンポジウム |              |         |  |  |  |
|         | 413+414 |           |                            |               |               |        |          |       |       |       | セミナー  |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         | 5F      | ロビー       | ポスター展示                     |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 501       | セミナー                       |               | ランチョン<br>セミナー |        |          |       |       |       |       |       |       |        | HKT(クリニック紹介) |         |  |  |  |
| 502+503 |         | 教育講演      |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       | 教育講演  |        |              |         |  |  |  |
| 504+505 |         |           |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              | ワークショップ |  |  |  |
| 506     |         |           |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
| 福岡サンパレス | 2F      | パレスルーム    | シンポジウム                     |               | ランチョン<br>セミナー |        |          |       |       |       |       |       |       |        | シンポジウム       |         |  |  |  |
|         |         | 平安        |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         | 4F      | 末広        |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 第1会議室     |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 第2会議室     |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 第3会議室     |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
|         |         | 第5会議室     |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
| 第6会議室   | ワークショップ |           |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        |              |         |  |  |  |
| ホテル日航福岡 | 3F      | 都久志の間     |                            |               |               |        |          |       |       |       |       |       |       |        | 懇親会          |         |  |  |  |



## 2日目 9月1日(日)

| 施設      | 階      | 会場名          | 8:00                       | 9:00      | 10:00 | 11:00 | 12:00     | 13:00     | 14:00     | 15:00  | 16:00   | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 |  |  |
|---------|--------|--------------|----------------------------|-----------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|
| 福岡国際会議場 | 1F     | エントランスホール    | 受付                         |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 2F     | ロビー          | パネル展示                      |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 201+202      | 企業機器展示                     |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 203          | シンポジウム                     |           |       |       | ランチョンセミナー |           | シンポジウム    |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 204          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 3F     | ロビー          | 患者家族の会・支援者の会展示 PC受付・二次抄録受付 |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | メインホール       | 特別シンポジウム                   |           |       |       |           |           |           |        | 市民公開講座  |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 4F     | ロビー          | 患者家族の会・支援者の会展示             |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 401          | ワークショップ                    |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 402          |                            | ワークショップ   |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 403          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 404          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 405          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 406          | ワークショップ                    |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 407          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 409+410      | セミナー                       |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 411+412      |                            | ランチョンセミナー |       |       |           |           |           | セミナー   |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 413+414      | シンポジウム                     |           |       |       |           |           |           | シンポジウム |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 5F     | ロビー          | ポスター展示                     |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 501          | セミナー                       |           |       |       |           |           | ランチョンセミナー |        | セミナー    |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 502+503      | 教育講演                       |           |       |       |           |           |           |        | 教育講演    |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 504+505      | ワークショップ                    |           |       |       |           |           |           |        | ワークショップ |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 506          |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
| 福岡サンパレス | パレスルーム | コメディカルミーティング |                            |           |       |       |           | ランチョンセミナー |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 2F     | 平安           | ワークショップ                    |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 末広           |                            | ワークショップ   |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         | 4F     | 第1会議室        |                            |           |       |       |           |           |           | 編集委員会  |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 第2会議室        |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 第3会議室        |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
|         |        | 第5会議室        |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |
| 第6会議室   |        |              |                            |           |       |       |           |           |           |        |         |       |       |       |       |       |  |  |

# 会場アクセス周辺図



# 事前参加登録のご案内

事前参加登録期間 4月8日(月)～7月15日(月)(祝)

当日の混乱を避けるために、皆さまの事前参加登録をお願いいたします。

※事前参加登録期間終了後は当日受付のみとさせていただきます。

## 【参加費】

| 区 分           |     | 申込記号 | 事前登録     | 当日参加       |
|---------------|-----|------|----------|------------|
| 病院・診療所の開設者,企業 | 会 員 | A    | 13,000 円 | 16,000 円   |
|               | 非会員 | B    | 15,000 円 | 18,000 円   |
| その他の医師        | 会 員 | C    | 8,000 円  | 10,000 円   |
|               | 非会員 | D    | 9,000 円  | 11,000 円   |
| コメディカル        | 会 員 | E    | 7,000 円  | 9,000 円    |
|               | 非会員 | F    | 8,000 円  | 10,000 円   |
| 初期研修医         |     | G    | 2,000 円  | 2,000 円    |
| 学 生           |     |      |          | 無料(要学生証提示) |

※前夜セミナーについては登録は必要ありません。参加費は無料です。

※学生（参加費無料）は、医学部・看護学部等に在籍中の専門資格取得前の学生に適用されます。

## ■専門医制度認定単位について

- ・日本小児科学会専門医認定研修会として8単位が認められます。
- ・日本小児神経学会小児神経科専門医制度認定研修会として2単位が認められます。

## ■お申込方法

### 第23回日本外来小児科学会 年次集会サイトからお申し込み

年次集会公式ウェブサイト (<http://sagpj23.umin.jp/participants.html>) による申し込み。

※Apollon システムのバージョン更新の為、学会ごとに『新規利用登録』が必要となりました。

- 1) 年次集会サイト左中央の『参加のご案内』をクリックし、参加登録ページへ進んでください。  
(<https://v3.apollon.nta.co.jp/23sagpj/>)
- 2) 参加登録ページ左上の『新規利用登録』をクリックして『代表者個人情報登録』ページへ進み、個人情報を設定後、『参加登録』を行ってください。
- 3) 予約確定後、ご登録いただいたメールアドレス宛てに確認メールを送信いたします。  
確認メールが届かない場合は、アドレスの入力間違い等が考えられます。運営事務局までお問い合わせください。

(株)日本旅行 九州イベントコンベンションセンター E-mail: 23rd\_sagpj@nta.co.jp

### インターネットによるお申込みができない場合

1. 11頁の「申込書」に必要事項を記載の上、FAXにてお申込みください。
2. 予約確定後、申込代表者様あてにご請求書関係書類等をFAXにてお送りいたします。  
(株)日本旅行 九州イベントコンベンションセンター FAX 番号: 092-451-0550

## ■懇親会について

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を開催します。

当日受付は定員に限りがありますので、ご希望に添えない可能性もございます。ぜひ事前登録をお願いいたします。懇親会のみのお申込みはできませんので、予めご了承ください。

**懇親会申込締切：2013年7月15日(月)** ⑧ なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

日 時：2013年8月31日(土) 18:00~20:00

会 場：ホテル日航福岡 都久志の間

会 費：5,000円

## ■昼食について

8月31日・9月1日はランチョンセミナーにてお弁当をご用意しております。

なお、会場内でのお弁当販売はございませんので、近隣のレストラン・喫茶をご利用ください。

## ■お支払い方法について

### お支払締切 2013年7月18日(木)

1. 確認メールまたはご請求書等が届きましたら、予約内容・請求金額をご確認の上、お支払いをお願いいたします。
2. お支払方法は、銀行振り込みまたはクレジットカード決済の2通りです。銀行振り込みの場合、振込手数料はご負担いただきますので、ご了承ください。

## ■変更・取り消しについて

1. 年次集会公式ウェブサイトより変更及び取消をお願いいたします。事前参加登録期間中は、自由に変更・取消が可能です。
2. インターネットによる変更及び取消が出来ない場合のご連絡は、行き違いを避けるため、必ずFAXまたはE-mailなどの書面にてお願いいたします。電話での取扱いはいたしかねますので、何卒ご了承ください。
3. 手配ならびにご準備の都合上、取消しに伴う参加登録費・懇親会費のご返金は、7月18日(木)を過ぎた場合、一切できませんので、ご了承ください。

## ■当日までの流れについて

開催前に参加証とプログラム抄録集をお送りします。(8月上旬頃発送予定)

入金済みであるのに、参加証とプログラム抄録集が、8月16日迄に届かない場合は下記運営事務局までご連絡ください。

## ■お問い合わせ先

第23回日本外来小児科学会 年次集会 運営事務局

(株)日本旅行 九州法人支店

九州イベントコンベンションセンター プラントウ・ジャパデスク内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル5F

参加登録申込担当：坂東、横山、田川 / 宿泊・交通申込担当：高田、田川

TEL：092-451-0606 FAX：092-451-0550

営業時間：10:00~17:00 (土、日、祝日休業)

E-mail：23rd\_sagpj@nta.co.jp

## 【第23回日本外来小児科学会 年次集会】 申込書

下記の【お客様の個人情報の取扱い】について同意の上申込みます。 お申込日： 月 日（ ）

|   |          |  |   |          |  |         |         |                          |
|---|----------|--|---|----------|--|---------|---------|--------------------------|
| フリガナ  |          |  |   | ご所属先名：   |  |         |         |                          |
| 申込代表者名：   |          |  |   |          |  |         |         |                          |
| ご連絡先： <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅（どちらかにチェック☑をしてください）<br>（〒 - ） 都道府県 区市郡  |          |  |   |          |  |         |         |                          |
| TEL： - -  |          |  |   | FAX： - - |  |         |         |                          |
|   | フリガナ     |  | 参加登録  |          | 宿 泊  |         |         |                          |
|   | 参加者名     |  | 性別  | 区分※      | 懇親会  | 第1希望ホテル |         | ツインご希望の場合はご同室者名をご記入ください。 |
| 記入例   | フクオカ タロウ |  | 男・女   | A        | <input checked="" type="checkbox"/> 参加<br><input type="checkbox"/> 不参加 | 8/30(金) | 8/31(土) |                          |
|   | 福岡 太郎    |  |   |          |  | 1-T     | 1-T     | 3-T                      |
| 1   |          |  | 男・女   |          | <input type="checkbox"/> 参加<br><input type="checkbox"/> 不参加            |         |         |                          |
| 2   |          |  | 男・女   |          | <input type="checkbox"/> 参加<br><input type="checkbox"/> 不参加            |         |         |                          |
| 3   |          |  | 男・女   |          | <input type="checkbox"/> 参加<br><input type="checkbox"/> 不参加            |         |         |                          |
| 4   |          |  | 男・女   |          | <input type="checkbox"/> 参加<br><input type="checkbox"/> 不参加            |         |         |                          |
| ※区分記号   |          |  | A：病院・診療所の開設者、企業（会員） B：病院・診療所の開設者、企業（非会員） C：その他の医師（会員）<br>D：その他の医師（非会員） E：コメディカル（会員） F：コメディカル（非会員） G：初期研修医 |          |  |         |         |                          |
| お支払方法（どちらかにチェック☑をしてください。）<br><input type="checkbox"/> 銀行振り込み <input type="checkbox"/> クレジットカード<br><br>カード決済ご希望の方は、下記にご記入ください。<br><input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> JCB <input type="checkbox"/> DC <input type="checkbox"/> Dinners <input type="checkbox"/> Amex<br><input type="checkbox"/> その他（ ）<br><br>カード番号 - - -<br>所持者氏名 _____ ご署名 _____<br>有効期限 _____ |          |  |   |          |  | ご要望：    |         |                          |

※記入用紙が不足の場合は、コピーしてご利用ください。

### 【お客様の個人情報の取り扱いについて】

- ①当社では、お客様からご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、お申込みいただきました旅行の手配、お客様との間の連絡ならびにこれらに付随する業務を行うために利用いたします。
- ②その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては当社ホームページ（<http://www.nta.co.jp>）をご参照ください。
- ③個人情報の取扱いに関するお問い合わせ先は 株式会社日本旅行 九州法人支店 TEL：092-451-0606 担当：高田・横山・田川までお願いします。



# シンポジウム

# 会長シンポジウム 8月31日(土) 14:00~16:45

## こどものためのコンダクターになろう

下村 国寿

演 者：田尻 由貴子（慈恵病院看護部）  
坂本 雅子（子どもの村福岡）  
井上 登生（井上小児科医院）

このシンポジウムでは地域社会で子どものために活躍している方の話を聞いてもらい、皆さんが各地域に帰って実践してもらおうことを希望しています。

会長の下村が前座を行います。福岡市医師会の役員を14年間務める間に、保育園・幼稚園保健、学校保健、小児救急医療等に関わりながら地域の小児科医、保育士、教師、行政等の方々とともに子どもたちのために取り組んできたことをお話しします。

熊本・慈恵病院は緊急避難的に赤ちゃんを預かる赤ちゃんポスト『こうのとりのゆりかご』を5年前に開設しました。子どもを産み捨てたり、虐待したりという事件は後を絶ちません。病院は赤ちゃんポストを設けただけでなく、孤立して悩む女性たちを救うためのいろいろな努力を日々行っています。看護部長の田尻由貴子さんに、その活動を話してもらいます。

子どもの村福岡の村長、坂本雅子さんは小児科医として、行政職のリーダーとして子どものためにいろいろな活動をされてきました。それをもとに私どもに話しかけてくれます。「すべての子どもに愛ある家庭を!! 虐待の増加を背景に、社会的養護の子どもたちが増えています。その約86%が施設で育ており、多くが里親で育つ諸外国から大きく立ち遅れています。福岡市では、2005年から、市民と児童相談所とが協働で里親普及・支援を行い、成果を挙げてきました。その活動の中から、国際N G O『SOS子どもの村』の子どもの権利尊重を基本とした優れたプログラムを知り、我が国の『新しい家庭養護のモデル』『地域との協働の子育てモデル』をめざして、2010年、福岡市西区に子どもの村福岡がオープンしました。多くの個人・企業、地元企業の『後援会』、『子どもの村福岡を支える小児科医の会』などに、建設、運営ともに支えられています。現在、育親（里親）が、14人の子どもと家族として生活していますが、同時にわが国における家庭養護の推進に寄与したいと考えています。子どもの虐待防止が、国民的課題になる中でも、社会的養護への国民の関心は少ない。小児科医が、家族の重要性を訴え、家庭養護の推進に果たす役割は大きいと思います。」

大分県中津市の小児科医、井上登生さんは病院内だけでなく、地域に出かけて活動しています。その心意気と活動を紹介してもらいます。「小児科開業医のアウトリーチは、市町村行政における母子保健（こんにちは赤ちゃん・乳幼児健診・予防接種など）、児童福祉（要保護児童対策地域協議会など）、発達障害（特別支援教育総合推進事業など）、学校（園医・校医・就学指導・不登校など）などいろいろな機会があります。また、小児科医としての自分の専門分野の知識と経験を活かし、地域の基幹病院などで診療やスーパーバイズを行ったり、地域で研究会や事例検討会を開催し、多職種連携のためのつなぐ仕事も重要であります。今回のテーマであるコンダクターには、いくつかの意味がありますが、指揮者であると同時に、意識改革を行う教育者であると考え、上記のような様々な事業のリーダーを側面から支える仕事が重要となります。当日は、小規模市町村での取組を紹介しながら、小児科開業医のアウトリーチ実践のために必要なアイデアを提供したいと思います。」



# 特別シンポジウム 9月1日⑨ 9:00~12:45

## 西間三馨の喘息白熱討論会

### 小児喘息の軽症化の時代における、過剰でも過少でもない適正な診療とは？ — ガイドライン委員長からアレルギー専門医、開業医までが一堂に会した討論会 —

コーディネーター 深澤 満 (ふかざわ小児科)

近年、小児喘息は重症例が減少し、大発作は稀になり、喘息入院も激減しています。20歳未満の喘息死も1990年は167例、2000年は60例、2010年は10例と減少しています。この理由として小児気管支喘息治療・管理ガイドラインに準拠した吸入ステロイド薬やロイコトリエン受容体拮抗薬による適切な治療の普及とされていますが、必ずしもすべての喘息児がガイドラインに沿った治療を受けている訳ではありません。今では、だれがどのような診療をおこなっても小児喘息の予後に大差がなくなってきたのかもしれませんが。このような状況を反映し、喘息診療の簡素化や短期化への試みも始まっています。また、低年齢児ではウイルス感染が喘鳴だけでなく喘息発作自体の重要な誘因であることも解ってきました。従来の小児喘息診療の見直しが必要な時期になったようです。今回の討論会では、日本の小児喘息の臨床と研究を指導されてきた地元福岡の西間三馨・前日本アレルギー学会理事長のもと、濱崎雄平・日本小児アレルギー学会ガイドライン委員会委員長をはじめ小児科勤務医、小児科開業医が一堂に会して、現在の小児喘息の診療について本音で討論できる会を企画しました。小児の喘息の診療には多様性があり、唯一の正しい方針は存在しないでしょう。当然、現在のガイドラインに対してもいろいろな意見があると思われます。会場の参加者にも討論に参加していただくために、発言希望者の席を先着順に20席確保いたします。なお、長時間の討論会となるため、軽食は準備しますが大食の方は昼食の持参をお願いします。

総合司会 西間 三馨 福岡女学院看護大学学長, 国立病院機構福岡病院名誉院長

#### 乳幼児喘息 — ウイルス感染と喘息 —

- 西村 龍夫 にしむら小児科 (大阪府柏原市)  
開業医で経験する乳幼児喘鳴 — 乳幼児喘鳴の頻度と予後 —
- 植村 幹二郎 うえむら小児科内科クリニック (兵庫県淡路市)  
乳幼児喘鳴とウイルス感染症 — RSV感染が喘息のリスクとなるのか? —
- 高瀬 真人 日本医科大学多摩永山病院 小児科  
乳幼児喘鳴と喘息 — 乳幼児喘鳴の治療のメリットとデメリット —

#### 喘息診療・治療 — 開業医の立場、勤務医・専門医の立場から —

- 五十嵐 隆夫 いがらし小児科アレルギー科クリニック (新潟県加茂市)  
外来における喘息治療 — 小児科開業医としてガイドライン作成にかかわってきた立場から —
- 深澤 満 ふかざわ小児科 (福岡市)  
長期治療自体が患者家族のQOLを下げる — 吸入ステロイド+吸入 $\beta_2$ による必要時のみの間欠投与療法の有効性 —
- 手塚 純一郎 国立病院機構福岡東医療センター 小児科  
成人へのキャリアオーバーは防げるのか?
- 亀田 誠 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科  
専門病院からみた喘息診療の現状 — 勤務医から開業医への提言 —
- 濱崎 雄平 佐賀大学医学部小児科  
小児喘息ガイドラインの今後の課題

【シンポジウム1】8月31日Ⓟ 9:00～11:45

## テーマ：子育てのスキル 家族の伝承から教育プログラムへ

コーディネーター：吉永陽一郎（吉永小児科医院）

演 者：藤田 一郎（佐賀大学文化教育学部 トリプルP：前向き子育てプログラム）

重永 侑紀（NPO 法人にじいろCAP 子どもへの暴力防止）

水井 雅子（みずい母乳育児相談室（助産院）国際認定ラクテーション・コンサルタント）

概 要： 昔、育児のスキルや文化は、地域や家族の中で、祖父母から親へ、親から子へと伝えられていくものでした。近年、身近な人からの伝承というあり方が少なくなり、育児支援という考え方が必要となる一因にもなったでしょう。同時に育児の方法の中には、プログラムが整備され、教育を受け学習するものも生まれてきました。その必要性、プログラム内容、母親に伝えるときに注意しておくべきことなどをお話しいただき、今の時代を再認識して、聞いている人達が、自施設に帰っても参考となる知識や心構えの習得を目的としています。わかりやすく、全ての職種にとって有益な、前向きな話を企画します。

.....

【シンポジウム2】8月31日Ⓟ 14:00～16:45

## テーマ：小児医療の向こうに“絵本の力”を見つけよう！

コーディネーター：濱野 良彦（医療法人元気が湧く こどもの歯科）

演 者：森山 百合香（ジーエータップ）

広松 由希子（日本国際児童図書評議会会員）

村中 李衣（梅光学院大学 文学部 日本文学科・児童文学作家）

内海 裕美（吉村小児科）

概 要： 現代の子どもを取り巻く生活環境の劣悪化は目を被いたくなります。「活字離れ、読書離れ」と言われた世代の子どもたちが、今父親や母親になっている時代です。特にケイタイやゲームなどメディアがもたらす子どもに対する負の影響は、育児・教育の問題点やその背景において重なるところが多くみられます。子どもの成長に大きな影響を与える乳・幼児期に「絵本」を通して感動を共有し、また、「命の尊さ」etc.の人格形成に必要な社会全般における育児・教育環境を良好にするための一助となる取り組みが必要だと考えます。小児医療の分野において絵本が正当に評価を受けるには、絵本の育児における有用性を学術的な検証結果を基に議論されることが重要で、小児医療に関わる私たちだからこそ、大人世界の気付き、親の認識の向上に大きく貢献できると考えます。そこで、会場参加者の発言機会を増やした企画で“小児医療から発信できる絵本の世界”を皆で創造しましょう！

【シンポジウム3】 8月31日⊕ 14:00~16:45

## テーマ：母乳育児とリサーチ

コーディネーター：瀬尾 智子（星ヶ丘マタニティ病院小児科）

演 者：瀬川 雅史（のえる小児科・母乳育児支援センター）

大塚 恵子（東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室）

本郷 寛子（東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室）

宮田 理恵（昭和大学病院 小児科）

杉村 徹（杉村こどもクリニック）

日野 利治（KAPSG：Kinki Ambulatory Pediatric Study Group）

**概 要：** 母乳育児をリサーチという観点から見たセッションを企画しました。まず、小児科医の瀬川雅史さんに、世界各国の文献をもとにして、母乳育児を科学的に見る楽しさを紹介してもらいます。また、小児科医で保健学修士の大塚恵子さんから、なぜ母乳育児に関する研究が必要なのか、臨床上の疑問をリサーチ・クエスチョンに落とし込み、研究計画をたて、そして結果をみる面白さはどこにあるのか、を聞きます。

その後、東京大学国際地域保健学教室で研究している国際認定ラクテーション・コンサルタントの本郷寛子さん、昭和大学医学部小児科の臨床心理士である宮田理恵さん、産婦人科に隣接する小児科クリニック院長の杉村徹さん、近畿外来小児科研究グループで多施設共同研究をしている小児科医の日野利治さん、の4人からそれぞれの研究発表があります。

母乳育児という身近な事柄を題材とした研究からリサーチの醍醐味を感じていただければ幸いです。

.....

【シンポジウム4】 8月31日⊕ 14:00~16:45

## テーマ：小児在宅医療のハードルは高いか？

### —地域医療連携と開業小児科医の役割—

コーディネーター：宮田 章子（さいわいこどもクリニック）

側島 久典（埼玉医科大学総合医療センター・総合周産期母子医療センター）

演 者：飯田 浩一（大分県立病院 新生児科）

高橋 保彦（九州厚生年金病院 小児科）

崎山 弘（崎山小児科）

緒方 健一（おがた小児科・内科医院）

田中 祥介（田中小児科医院）

**概 要：** 小児在宅医療をテーマとしたセッションは過去年次集会のワークショップやセミナー、他の学会、研究会でも開催されてきました。しかし一部の積極的に在宅医療を推進している在宅療養支援診療所や開業小児科医を除いて大部分の開業小児科医はその重要性を理解しつつも第一歩が踏み出せないのが現状です。本シンポジウムでは周産期医療の進歩とともに長期入院を強いられている子どもたちとその家族の現状や開業小児科医に期待することを新生児医療施設から大分県立病院の飯田浩一さん、九州厚生年金病院の高橋保彦さんに発信していただきます。

東京都府中市の崎山弘さん、熊本市の緒方健一さん、大阪市の田中祥介さんは開業小児科医の立場より各地域での取り組みを報告しその問題点を新生児医療施設と共有します。シンポジウムに参加した多くの方々が地域医療連携と開業小児科医の役割を認識して、これから小児在宅医療に取り組む機運になることを期待します。

【シンポジウム5】9月1日㊥ 9:00～11:30

## テーマ：子どもの虐待と貧困をめぐって ～子ども・家庭の危機と私たち～

コーディネーター：松本 壽通（松本小児科医院）

演 者：藤林 武史（福岡市こども総合相談センター）

小西 祐馬（長崎大学教育学部）

八坂 知美（済生会病院小児科）

小坂 昌司（弁護士）

司 会：淵上 継雄（元西南学院大学）

概 要： 「虐待」問題は、子どもの生命・安全と発育をおびやかす大きな課題である。その相談件数は毎年増加をつづけ、昨年度全国で約6万件（毎日平均160件以上）となり、また毎週1～2人の子どもが生命を失っている。一つひとつの事例に、子どもと家族の深い苦悩や悲惨な状況が複合しており心が痛む。

また近年、子どもの「貧困」が社会問題となり、その貧困率が上昇し、15.7%（2009年度）となった。これは子ども6～7人に1人が、きびしい経済状況の中で生活していることを示しており、特に乳幼児を持つ家族やひとり親家庭に多い。貧困は単に金銭面にとどまらず、子どもの日常生活、学力や心の状態に影響し、子どものライフチャンスもおびやかしている。そして貧困は虐待とも関連性が高いことが指摘されている。

このシンポジウムでは医療や子ども福祉の現場をはじめ、保育・教育、司法分野の関係者が多面的に現状や背景を探るとともに、地域社会の中で私たちにできることは何か、実践的課題と社会への提言をお願いする。

.....

【シンポジウム6】9月1日㊥ 9:00～11:30

## テーマ：8年後の小児科医の姿（Identity）を 医学教育から予見する

コーディネーター：森田 潤（こどもクリニックもりた）

田原 卓浩（たはらクリニック）

演 者：田原 卓浩（たはらクリニック）

阿真 京子（「知ろう！小児医療 守ろう！子ども達」の会）

石井 榮一（愛媛大学医学系研究科医学専攻病態制御部門小児医学）

市河 茂樹（亀田総合病院小児科）

茂木 恒俊（飯塚病院総合診療科）

概 要： 系統的な小児科教育を受けた総合診療医がプライマリ・ケアに出現する時期が迫っています。小児人口の減少と感染症の軽症化ならびに薬物療法の進化などを考慮すると、“風邪っぴきの医者”のままでは小児科医のidentityを喪失する時期が到来することが危惧されます。シンポジウムでは、小児科後期研修を基点として、社会の医療workforceニーズに呼応した小児科の将来像を医学教育のアウトカムとして示したいと思います。

立場の異なる5人多角的な論点を踏まえて、近未来社会での需要と供給のバランスを維持するための医学教育の重要性と、小児科医のidentityの拡充に必要な方策を論議します。

【シンポジウム7】9月1日㊥ 9:00～11:30

## テーマ：小児生活習慣病～日本の子どもの未来のために環境を整える －病院・検診・クリニック・学校からの積極的アプローチの方法を学ぼう－

コーディネーター：原光彦（東京都立広尾病院小児科）

青木真智子（青木内科循環器科小児科クリニック）

演 者：原光彦（東京都立広尾病院小児科）

徳田正邦（徳田こどもクリニック）

早川広史（早川小児科クリニック）

島子志津子（福岡市平尾小学校養護）

**概 要：** 小児生活習慣病は、家族や自分の生活環境によって作り出してしまった病気のことです。しかし、この状態を誰が教えてくれるのでしょうか。それは、子ども達を見守る病院・クリニック・学校が、気づかない家族や本人に教えるべきでしょう。しかし適切な対応については、本当に難しいものがあります。長年小児生活習慣病に携わり、積極的なアプローチをされておられる専門家にそれぞれの立場からお話しいたします。原光彦さんは、病院だけでなく、全国の幼児から思春期の子ども達の生活習慣病に対する対応に取り組んでおられます。徳田正邦さんは、長年の小児生活習慣病検診から見てきたことについて、早川広史さんは、多職種のスタッフと共に行う専門外来について、養護教諭の島子志津子さんは、実際の学校現場での取り組みについてお話しいたします。子どもに関わるすべての人が、この問題に対して共通の理解を持つことが必要です。コメディカルの方も積極的にご参加いただき、外来に来る子ども達のために役立てていただきたいと思います。講演だけでなく討論の時間をとり、会場からの活発な質疑応答も期待します。

.....

【シンポジウム8】9月1日㊥ 13:00～15:30

## テーマ：食物アレルギー UP DATE

コーディネーター：荒木速雄（荒木小児科医院）

演 者：柴田瑠美子（国立病院機構福岡病院小児科）

岡部貴裕（おかべアレルギークリニック）

梅野英輔（梅野内科小児科医院）

手塚純一郎（国立病院機構福岡東医療センター小児科）

**概 要：** 食物アレルギーの概念はここ数年で大きく変わってきています。小児アレルギー学会における食物ガイドライン作成や学校や保育園・幼稚園のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインもでき、小児科外来での対応は複雑に、また難しくなっています。

食物アレルギー専門医の柴田瑠美子さんに食物アレルギー全般に関しての最新の情報を提供してもらい、小児科外来診療における留意点を話してもらいます。

岡部貴裕さんと梅野英輔さんは日常外来で食物アレルギー患児を診療しており、専門的な知識を持ち多くの実践経験を積んでいますが、食物経口負荷試験や経口減感作療法等の対応については少しずつ異なっています。二人に実際の外来診療におけるやり方や注意点等について話してもらいます。最後に、手塚純一郎さんにプライマリケアにおけるアナフィラキシー対応の留意点を話してもらいます。

【シンポジウム9】9月1日㊥ 13:00~15:30

## テーマ：発達障碍の子どもたちが外来小児科に望むこと

コーディネーター：宮崎 千明（福岡市西部療育センター）

演 者：吉田 ゆかり（よしだ小児科医院）  
石井 克子（福岡市保育課障がい児保育係）  
山崎 久美子（福岡市立勝馬小学校）  
宮崎 千明（福岡市西部療育センター）  
宮川 まゆみ（保護者）

**概 要：** 小児科診療に携わっている者であれば発達障碍についての知識は書籍や講演会等で頭に入っているはずですが、実際の診療の場面で「待合室で待てない、診療に協力できない」等のときにどのように対応すればよいのか、診察する中で「発達障碍かな」と思ったときに保護者にどのように伝えるのか、あるいは保護者から直接に相談されたとき、保育園や幼稚園、学校から健診等の際に相談を受けたときにどのように回答し、どのように専門機関に繋いでいくのか、多くの方が悩んでいると思います。すでに診断を受けている児、行動が気になり発達障碍かな？と心配している児も含めて、日常生活で常に子どもたちと接触している保護者、保育園、幼稚園、学校の方からの話しを伺いながら、専門医と一緒に対応方法を議論していきたいと思います。

.....

【シンポジウム10】9月1日㊥ 13:00~15:30

## テーマ：「勤務医と開業医の連携」～外来で診る？入院で診る？～

コーディネーター：絹巻 宏（絹巻小児科クリニック）

原田 達生（福岡赤十字病院小児科）

演 者：高田 結（福岡赤十字病院小児科）  
中山 秀樹（国立病院機構福岡東医療センター 小児科）  
賀来 典之（九州大学病院救命救急センター）  
村上 龍夫（村上こどもクリニック）

**概 要：** 病院小児科に紹介された小児患者の重症度は様々である。入院適応に関しては地域の小児救急医療体制、病院・診療所それぞれの診療内容、近隣の病院小児科との連携など、患者以外の要素も大きく関与している。小児市中肺炎については2011年の小児呼吸器感染症診療ガイドラインに「入院の目安」が提示されているが、この「目安」に準じて紹介や入院決定がなされているか。この「目安」が適切か。一方、Hibや肺炎球菌等のワクチン接種の普及により下気道感染症の入院数が減ってきた印象があり、同様に他の疾患の入院数も減少している。また小児患者の救急搬送において、適切なトリアージや適切な救急車の利用がされているだろうか。一次医療機関と二・三次医療機関の連携において何が必要かを討議することを目的に以下の3題を選んだ。最後に開業医の立場からも発言してもらいます。

1. 小児下気道感染症入院患者の重症度および軽症患者の入院適応
2. Hibおよび肺炎球菌ワクチン公費導入前後の小児下気道感染症の入院の変化
3. 一次医療機関から二次、三次小児救急医療機関への小児救急搬送の現状

※開業医の立場からみた病診連携



# 教育講演



## テーマ：妊産婦の心の問題と子どもの育ち

演者：吉田 敬子（九州大学病院子どものこころの診療部）

概要：子どもの誕生はおめでたい一方、妊産婦には心の問題が生じやすい。産後うつ病は、出産する母親の10人に1人が発症し、低出生体重児や、小児科疾患のある赤ちゃんの母親ではさらに高率に発症する。この発症率の高さからエジンバラ産後うつ病スクリーニング（Edinburgh Postnatal Depression Scale:EPDS）が開発され、日本版も作成された。

メンタルケアと育児支援の対象となる妊産婦は、1）望まない妊娠、夫や実母などから情緒的なサポートがない、精神科既往歴があるなど、出産前から育児環境の不全が想定される妊婦、2）うつなどの精神症状がみられる母親、3）赤ちゃんに対して怒りなどの否定的な感情を抱き、不適切な育児態度や行動が危惧される母親である。これら3つのそれぞれの場合に対応して、3つの自己記入式質問票、Ⅰ育児支援チェックリスト、Ⅱ産後うつ病質問票、Ⅲ赤ちゃんへの気持ち質問票が作成されている。各数分で記入でき、使用マニュアルも出版されている。

最近の研究から、妊娠中のストレスそのものが胎児の子宮内発育不全、形成異常（奇形）、低出生体重などの産科データにつながることで、また出産後の母親のうつ病などによる育児機能の障害も加味されて、その後の子どもの情緒や発達の障害（注意欠如多動性障害）に関連することも明らかになってきた。そこで産科医師は近年、妊娠中から助産師と共に妊産婦のメンタルケアに携わりはじめた。小児科医師も診療の場で、母親の育児機能に危惧を抱いた場合、まずは上記の質問票を母親に記入してもらい、状況のチェックを行って欲しい。次に、地域の保健師などに連絡をして、育児支援の受け皿として産後の母子訪問を依頼していただきたい。地域の保健師は、すでに3つの質問票を数年から十数年活用している場合も多い。まずはケースをかかれらと共有して母親の精神面をサポートし、育児支援の実践を経験されることをすすめる。

---

## テーマ：子どもの突然死に取り組む

演者：山中 龍宏（緑園こどもクリニック）

概要：WHO（世界保健機関）では、突然死（sudden death）を「発症から24時間以内の予期せぬ内因性（病）死」と定義しているが、ここでは外因による死亡も含め、子どものすべての死亡について考えてみたい。

### ・子どもの突然死を取り巻く現状

突然死は、死因が不明である場合も多い。突然死に関連したデータをみると、乳児期の突然死で最も多いのは乳児突然死症候群である。うつぶせ寝を避けることにより、最近では15年前の約1/4の死亡数となっているが、原因は不明のままである。

最近、予防接種を開始する時期が早くなり、接種回数も多くなった。予防接種をした翌日に突然死すると予防接種との関連が疑われ、因果関係がわからぬまま国レベルで予防接種が一時中止となる事態も起こった。

日本スポーツ振興センターのデータで学校管理下の突然死をみると、毎年60-80件の突然死が発生しており、その7割は心臓系疾患であった。

わが国において、国レベルの死亡の情報は死亡小票しかない。その入力項目はわずか32で、突然死かどうかもわからず、その死因を特定できる情報は皆無に等しい。

医療側にとって突然死で困るのは、医療過誤としてみられることである。基礎疾患もなく、元気であった子どもが突然に死亡した場合、医療側に過失がなくても、保護者に裁判という手段を選択させる場合が多い。代表的な疾患として、急性脳症、急性心筋炎、急性喉頭蓋炎などがある。

これらの問題を解決するにはどうしたらいいのだろうか？

### ・Child Death Reviewの確立が不可欠

子どもが死亡した場合、米国などでは、子どもに関わっている機関や関係者が集って徹底的に検討する「子どもの死亡事例検証」（Child Death Review：CDR）が法制化されている。CDRの調査用紙の入力項目は約1,700あり、詳細に検討することが可能である。

子どもの突然死に対し、「なぜ死亡したのか」「予防はできなかったのか」—こう問い続け、死亡した時の詳しい情報を記録し続けることは医療関係者の責務である。

## テーマ：家庭裁判所で扱う少年事件について

**演者：**氷室 眞（大阪家庭裁判所少年部 裁判官）

**概要：**家庭裁判所の少年部は、犯罪を行った少年（20歳未満）の事件を扱う部署です。犯罪が発生した場合、成人が犯人であれば、刑事裁判が開かれますが、少年が犯人の場合は、事件を家庭裁判所に送ることになっています。この趣旨は、未成年者の場合、犯罪に対する刑罰を科するよりも、犯人の将来のために若い内にきちんとした教育を施すことが必要との考えに基づくものです。従って、家庭裁判所では、その少年の資質、家庭環境等を十分調査した上で、その少年に相応しい処遇を考えていくこととなります。この調査を主に行うのが、家庭裁判所調査官です。調査官は、少年と保護者に直接面会すると共に、少年の通っていた学校に対する調査などを行います。また、少年の資質などを詳細に調査する必要があると考えられる事件については、少年を鑑別所に収容し、鑑別所で、知能検査、心理テストなどを行い、鑑別所の技官にも意見を出してもらって審判を行います。それらの調査や鑑別結果を踏まえ、審判を行い、最終の処分を決めることとなります。

家庭裁判所に送られてくる少年は、一般的には、やはり環境に恵まれない少年が多いといえます。背景として、貧困、親の観護能力不足、親からの虐待あるいはネグレクトなどです。兄弟に対するコンプレックス、あるいは熱中していたこと（野球、サッカー等）の挫折から生活を乱し、非行に走るというケースもかなりあります。他方、家庭環境、本人の能力に全く問題が無い少年も時たまありますが、その場合は、ほとんど性非行です。

最近の少年の傾向として、少子化、核家族化などの影響か、共感性のない少年、凶悪な行動についての抵抗感を持たない少年が増えているように感じます。

教育講演Ⅱ 8月31日(土) 14:00~16:45

## テーマ：小児科外来で要注意の外科疾患

**演者：**田口 智章（九州大学大学院医学研究院小児外科学分野）

**概要：**小児の日常診療で比較的多く出会うのは消化器症状です。私も時々福岡市急患センターで1次救急患者を診察しておりますが、消化器症状は主に腹痛、嘔吐、下痢、消化管出血を呈し、原因として多いのは内科的疾患である便秘と感染性胃腸炎です。しかしそのなかに外科的疾患が紛れ込んでいることがあり診断が遅れると重篤化することがあります。また保存的治療で症状の改善がない場合は外科疾患を疑う必要があります。

急性腹症では腹痛の性状（持続性、間欠性、増悪傾向）、全身の視診（姿勢、鼠径部や陰嚢の腫脹や発赤、紫斑や皮疹、肛門周囲びらんや膿瘍）、聴診（腸音の有無、金属音）と触診（再現性のある局所圧痛、筋性防御、腫瘤）、全身状態不良（not doing well）などを参考に外科疾患を疑います。

腹部単純X線立位像は外科疾患の診断の一助となります。小腸の鏡面像がある場合や、腸管ガス像の著明な偏位（圧排像）は外科疾患を疑わせます。腹部超音波は外来で簡単に行えますので私も急患センターで重宝しています。日常疾患では腸重積や虫垂炎や肥厚性幽門狭窄は確定診断できます。また中腸軸捻転や絞扼性イレウスや精巣捻転の診断にも有用です。

以上から外科疾患が疑われる場合は小児外科医は親切ですのでご遠慮なくご相談ください。

近年、腹腔鏡利用や従来の皺を利用した傷が目立たない手術が可能になってきました。現在、急性虫垂炎や女児の鼠径ヘルニアは全例腹腔鏡手術を行っていますし、新生児や乳児手術は臍部皺や腋窩皺を切開する方法により傷が目立たなくなり、患児の長期的なQOLが向上していますので一部紹介します。

遷延性黄疸も外科疾患をrule outする必要がありますが、外科疾患の代表である胆道閉鎖は肝臓移植の導入により飛躍的に治療成績が向上しました。さらに乳歯の歯髄から幹細胞を抽出し小さな肝臓をつくる研究を行っていますのでその一部を紹介します。

## テーマ：小児領域の超音波検査の実際

### －適応・手技及びCT・MRIとの使い分けを含めて

**演者：**川波 喬（前福岡市立こども病院放射線科）

**概要：**小児は体が小さく、体脂肪が少なく超音波検査で非常によく見えます。分解能自体もCT/MRIより優れ、睡眠薬使用なしで・繰り返し検査可能・被曝の問題がないといった利点もあります。CT/MRI検査を施行の場合も、検査範囲の局在化による検査の効率化・高分解能化・CT/MRI読影時に重要な役割を果たすことも多いようです。

超音波検査適応は全身で、頭部（頭囲拡大、奇形、HIEなど）、頸部（正中頸嚢腫、リンパ管腫などの腫瘍性病変、リンパ節腫脹、甲状腺腫大、反復性耳下腺炎などの唾液腺炎、唾石、筋性斜頸など）、胸部（胸部腫瘍の部位判定、胸腺、胸水）、腹部（幽門狭窄症、中腸軸捻転、腸重積症、腸炎、虫垂炎、イレウス、総胆管嚢腫、先天性胆道閉鎖症、胆石、総胆管結石、水腎症などの尿路奇形、尿路結石、VUR、尿路感染症、卵巣腫大、腹部腫瘍、腹水、気腹など）、表在性病変（腫瘍、ソケイヘルニア、停留精巣、陰嚢水腫、急性陰嚢症など）、整形外科領域（関節水腫、先天性股関節脱臼、脊髄奇形など）といったところです。

手技的には、探触子は通常のコンベックスだけでなく、リニアタイプも必須で、他に乳児では小さなマイクロコンベックスタイプが有用。動く患児は母親が抱っこ、術者の左手を患児の肩におくと、動きに十分対応可能です。骨盤内観察では、膀胱充満不良では描出不良となるので、飲水摂取後再検が必要になることが多いが、リニア探触子で腹壁直下に卵巣や拡張尿管を描出可能になったり、また腸骨動静脈をウインドウし、卵巣・腫脹虫垂などが観察可能となることがある。虫垂炎疑いで描出困難な場合・疼痛が著明で前腹壁から圧迫困難な場合は背中からあるいは側腹部からの圧迫が効果あることがある。消化管閉塞性疾患では、水分投与で描出能が格段に向上することがあり、ぜひトライされたい。

## テーマ：HTLV-I母子感染予防対策～長崎県から全国へ

### Prevention of Mother-to-Child Transmission of HTLV-I: From Nagasaki to All over Japan

**演者：**森内 浩幸（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・感染症制御学（小児科））

**概要：**HTLV-Iキャリアの約5%が中高年以降に成人T細胞白血病(ATL)を発症する。有効な予防・治療法がないATLへの基本対策は経母乳感染によるキャリア化の阻止であり、流行地長崎県は1987年より県、長崎大学、産婦人科医会、小児科医会が中核となって、全妊婦のHTLV-I抗体スクリーニング、キャリア母親の母乳回避介入、出生児の追跡調査からなる研究事業を開始した。

その結果、感染率が授乳方法・期間によって異なる事がわかり[人工栄養2.4%、短期(6か月未満)母乳8.3%、長期(6か月以上)母乳20.5% (p<0.01)]、20年間で妊婦約21万人中約7千人のキャリアが見つかった。その約9割が断乳し、長期母乳栄養と比べ感染率が約1/8に減少する事から、本事業は1,000件以上の母子感染を防止し、50例以上のATL発症を予防したと推定できる。事業開始後の1988年以降に出生した妊婦におけるキャリア率は激減し、流行地であった長崎県でATL征圧が期待される段階に到達した。

しかし全国的にはキャリア数は過去20年間で120万人から108万人と微減に留まり、しかも従来九州に集中していたキャリアが全国に拡散してきた事を受け、母子感染予防対策を全国的に展開する方針が定まった。ただ問題点として、(1)非流行地では抗体スクリーニング検査(PA法、CLEIA法)偽陽性が多い、(2)確認検査(WB法)判定保留例も多い、(3)PCR法は保険適応がなく標準化されていない、(4)非流行地ではHTLV-I感染に詳しい専門家が少なくカウンセリング体制も整っていない事が挙げられた。

さらに、本来母子にとって大きな恩恵となる母乳の遮断と、完全人工栄養でも2~3%の感染を防げない事実がジレンマを生む。凍結母乳栄養や短期母乳栄養の有効性は小規模の研究結果に基づくためエビデンスが弱い。どの栄養法を選んだ場合も、きめ細かな指導と継続的なサポートなくして継続困難であり、キャリアに対するカウンセリング体制も不可欠である。

## テーマ：「発達障害児の早期発見、対応」 —脳科学、睡眠からのアプローチ

**演者：**松石 豊次郎（久留米大学医学部小児科、久留米大学 GC/MS 医学応用研究施設）  
**概要：**21世紀は脳の時代だと言われているが、近年、わが国では、子どもの「脳とこころ」の問題も大きな社会的関心が寄せられてきた。

脳の発達期の異常で生じる発達障害は、頻度が高く、医学・教育・福祉・社会上重要である。精神遅滞、注意欠陥多動性障害（ADHD）、自閉症、アスペルガー障害、学習障害等は文部科学省の調査で約10%と高頻度であり対策が重要である。これらの児童は思春期～成人期に高頻度でうつ病、反抗挑戦性障害、不登校、アルコールや薬物依存などの併存症を伴ってくる事が知られ、早期介入が重要と考えられている。

今回、1. 発達障害は増えているのか？ 2. 脳科学を用いた病気の原因・病態解明と早期介入の効果の実証について述べる。

我々は最先端の脳科学や分子生物学的手法を駆使し発達障害の病因・病態の解明、治療法の開発を目指す包括的研究をおこなってきた。

唾液を用いた神経伝達物質、神経修飾因子測定やSPM-SPECTを用いた先端的機能画像イメージングを用いて、病態生理を解明し、早期診断、早期治療、予防法を検討してきた事を紹介する。また乳幼児・学童では課題を行いながら、脳の血流・代謝を測定できる、近赤外線トポグラフィの応用、および目は心の窓と言われるが、目の動きから脳の活動を分析するアイマークレコーダーを用いた非侵襲的脳機能画像を紹介する。

上記の検査を用いて神経回路の異常を明らかにし、現在有効と考えられている行動療法、薬物療法の作用機序を科学的に解析してきたので紹介する。

最後に、こどもの社会性（ソーシャルスキル）の発達に関する、日本で初めての子どもの発達コホート研究にも取り組んできたが、発達障害の子ども達には、睡眠障害の頻度が高い事が知られてきた。日本の子ども達の睡眠の現状分析および睡眠の重要性を含め報告する。

---

## テーマ：タンデムマスを用いた新しい新生児マススクリーニング ：福岡での取り組み

**演者：**廣瀬 伸一（福岡大学医学部小児科）  
**概要：**最近、タンデムマス質量分析計（タンデムマス）による、新生児の先天性代謝異常症のマススクリーニングが各地で実施されるようになってきた。これにより、一度に20数種類以上の疾患のスクリーニングができるようになった。すべての疾患は早期発見すれば、予防や治療が可能であり、新生児マススクリーニングの新時代が開かれたと言える。タンデムマスとは質量分析機を直列に2つ並べて使用して、生体内物質を高い精度を持って分析する機械である。実際の新生児マススクリーニングでは、従来の“ガスリーテスト”に使用するろ紙血をそのまま用いて、タンデムマスによりアミノ酸とアシルカルニチンの種類とその量を測定する。このため、新生児や医療従事者の負担は以前と変わらないが、この方法によりアミノ酸、有機酸、および脂肪酸代謝異常症のうち、20数種類以上を同時にスクリーニングすることが可能となった。いずれも、新生児期早期に見逃せば、突然死を含めその後大きな問題を起こす可能性のある疾患であり、タンデムマスによる新生児マススクリーニングの意義はきわめて大きい。海外でもすでに導入されている国が少なくない。日本でもパイロットスタディが実施され、約9000人の新生児に1人の割合で先天代謝異常症が発見され、その発見率は“ガスリーテスト”の約3倍であることが知られている。一方、“ガスリーテスト”の対象疾患のうちガラクトース血症、先天性甲状腺機能低下症、および先天性副腎過形成の3疾患は引き続き現行法で検査しなくてはならない。また、急速に経過する症例では、タンデムマスによる新生児スクリーニングが間に合わない場合があるし、逆に、十分な哺乳が開始されたあとには、疾患が発見されないこともある。このような小児科医が知るべきタンデムマスを用いた、新生児マススクリーニングの有用性と限界を、平成24年2月より実施している福岡市とその近郊での取り組みを元に紹介したい。

## テーマ：周期性発熱症候群の病態と診断・治療

演 者：楠原 浩一（産業医科大学小児科）

概 要： “周期性発熱症候群 (periodic fever syndrome)”は、周期的（間隔は必ずしも規則的ではない）に発熱をきたす疾患の総称である。このような疾患としては、(1)規則的に発熱のエピソードを繰り返す“狭義の周期性発熱”と、(2)必ずしも規則的ではないが間欠的に発熱のエピソードを繰り返す遺伝性疾患である“遺伝性周期性発熱症候群 (hereditary periodic fever syndrome)”がある。(1)の一部と(2)を含む、より広い概念として提唱されたのが“自己炎症性疾患 (autoinflammatory diseases)”であり、“自己抗原に対する高い抗体価や特異的 T 細胞の存在なしにおこる炎症を特徴とする疾患群”と定義されている。遺伝性周期性発熱症候群をはじめとする多くの自己炎症性疾患では、近年その原因遺伝子が次々と同定され、病態の解明とそれに基づく新しい治療法の開発が進められている。本講演では、遺伝性周期性発熱症候群に含まれる 3つの疾患 [TNF receptor-associated periodic syndrome (TRAPS)、家族性地中海熱、高 IgD 症候群] と、比較的新しく提唱された疾患概念で(1)に含まれる非遺伝性の PFAPA 症候群 (periodic fever, aphthous stomatitis, pharyngitis, and adenitis syndrome) の病態、臨床症状、検査所見、遺伝子診断、治療について、一部自験例を交えながら概説する。それぞれの疾患の典型例では発熱のパターンと随伴症状から比較的容易に臨床診断が可能であるが、お互いに臨床像が重なり合う部分も多く、鑑別には詳細な臨床観察が重要である。

日常臨床の中では、炎症反応の上昇を伴い、原因を特定できない発熱のエピソードを繰り返す症例を稀ならず経験する。このような症例において、周期性発熱症候群は感染症や自己免疫疾患と鑑別すべき重要な疾患の一つである。

教育講演Ⅳ 9月1日㊦ 13:00~15:30

## テーマ：育児支援にともなう医科と歯科の連携とは！

演 者：井上 美津子（昭和大学歯学部）

概 要： 子どもの医療にたずさわる私たちは、育児支援の基本理念のもとで種々の健康問題と対峙していますが、保護者が相談する専門家によって意見が異なることも少なくないため、小児保健の現場では混乱が生じやすくなっていました。2003年歯と口腔に関する疑問についての対処策として、「チャイルドヘルス懇話会」が結成され、同年12月には、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、日本小児歯科学会より構成委員を得て、「小児科と小児歯科の保健検討委員会」に発展しました。その後2009年には、小児科・小児歯科・心理・栄養のプロがまとめた「子どもの歯と口の保健ガイドーチャイルドヘルスプロフェッショナルが協働でまとめた6つの歯の常識ー」が発刊され、種々の問題に対する統一見解を出しています。現在も「小児科と小児歯科の保健検討委員会」の活動は継続され、今年で10年が経過しますので、この会において解決された問題点あるいは明らかになった問題点等を含めてお話致します。

## テーマ：保険請求とレセプト審査の基本

演者：高木 誠一郎（たかき小児科医院）

概要：近年、医療経済を取り巻く環境は悪化の一路を辿っています。ほとんど増点がない保険点数の中で、医療機関と保険者の競り合いは頂点に達しようとしています。紙レセプトが電子化された影響で、審査方法も大きく変化してきました。多くの場合、医療機関側には不利に働いているといえそうです。大量のデータからごく短時間に必要なものを抽出することができますので、「横覧」、「縦覧」、「突合（とつごう）」など、紙レセプト時代にはほとんど不可能だった審査方法も標準化されています。一つの請求ミスはソート機能で、提出したレセプト全体から一瞬のうちに同じ間違いが集められます。一網打尽ですから、数も多くなり、翌月からは集中的にその医療機関の重要審査項目となりますし、査定を眼にした保険者側は後日、ほかの医療機関にも拡大して、標的の一つになります。先生方もこのような細かな指摘が多くなってきた実感をお持ちになっていることでしょう。少なからず査定されることも増えているかもしれません。ケアレスミスが指摘されやすい環境です。

本学会には医師だけでなく、請求業務を行う事務の方も参加されることでしょうか。限られた時間内に細かに具体例をお話することは困難です。用語解説を基本に現在の保険請求や審査について基本的なことを分かりやすくお話ししたいと思います。さらに、電子レセプトの審査方法から見た診療所・病院での診療や点検作業のポイントについて言及します。時間があれば「社保・国保の差」に対する福岡県での対応、九州内での「地域間格差」解消の取り組み、「ローカルルール」、「保険者からの再審査請求」、「傾向的（画一的）診療」などについても触れたいと思います。

監督官庁の指導などを除けば、公の場で保険審査を話題にすることはタブー視されてきました。今回はできるだけ分かりやすく、オープンな話にしていきたいと思っています。

## テーマ：こどもの中耳炎

### ～マクロビュー™でルーチンに耳を診てみよう～

演者：土田 晋也（つちだ小児科）

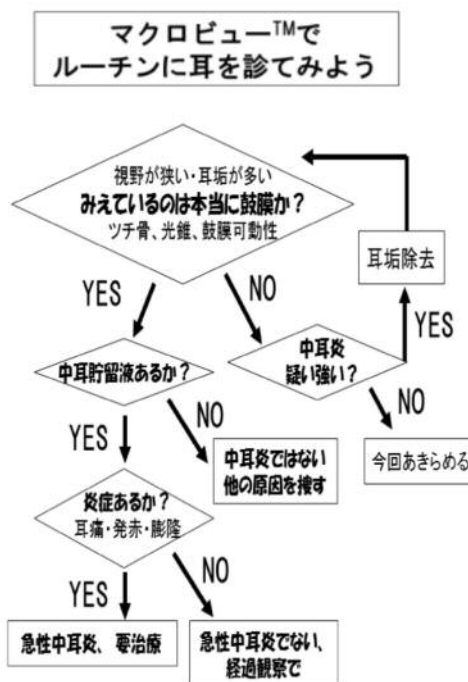
概要：中耳炎診療するにあたり、まず自分用の耳鏡を購入して下さい。高額な内視鏡や電子スコープは必要ありません。

ウェルチ・アレン拡大耳鏡マクロビュー™はお手頃価格で使いやすい耳鏡です。しかし、内視鏡や電子スコープと比べると視野が狭い欠点があります。鼓膜をみていると思って実は外耳道後壁をみていることが初心者の間は多いです。みえているのは本当に鼓膜か、常に疑う癖をつけて下さい。鼓膜であればツチ骨の輪郭、あるいは光錐がみえるはずです。送気球で空気圧をかけて鼓膜の可動性を確認してもOKです。次に、中耳貯留液はあるかを判断して下さい。

鼓膜の膨隆、色調、混濁（癬痕や肉芽ではない）、鼓膜背面の液面・水泡、送気球で空気圧をかけた時の鼓膜可動性から判断します。正常鼓膜を見慣れてくると瞬時に判断できるようになります。

今回の講演では右のフローチャートに沿って話をすすめます。

デジタルマクロビュー™で撮影した動画をふんだんに使った発表にしますのでご期待ください。



**セミナー**

【セミナー1】8月31日⊕ 9:00～11:45

## テーマ：医療現場のメンタルヘルス

コーディネーター：藤田 紋佳（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

黒川 美知子（くろかわみちこ小児科クリニック）

演 者：武井 麻子（日本赤十字看護大学）

荒木 登茂子（前九州大学大学院医学研究院基礎医学部門医療経営・管理学）

尾内 康彦（大阪府保険医協会事務局）

概 要： 医療現場には、多くのストレスが渦巻いています。それは、仕事自体のストレスのみならず、対患者、医療従事者同士の対人関係に起因するものも多いと考えられます。このような、メンタル面に影を落とすストレスは医療上のミスや仕事効率の低下、ひいては離職につながりかねません。このセミナーではストレスに向き合い、解決して、より良い精神状態で仕事に取り組めるような方法を学びます。

演題1：感情労働とは、表情や声や態度で適正な感情を演出することが求められる仕事であり、肉体労働、頭脳労働と異なる第3の労働形態です。今回「ひと相手の仕事はなぜ疲れるのか」の著者である武井麻子先生にご講演いただきます。

演題2：医療コミュニケーションや医療スタッフのストレスマネジメントがご専門の荒木登茂子先生にご講演いただきます。

演題3：「患者トラブルを解決する技術」の著者であり、なにわのトラブルマスターとして有名な尾内康彦氏にお話を伺います。

.....

【セミナー2】8月31日⊕ 9:00～11:45

## テーマ：コメディカルが創る乳幼児健診

コーディネーター：<sup>キム ヒョイル</sup>金 孝一（えんぴつ公園こどもクリニック）

演 者：えんぴつ公園こどもクリニックスタッフ

概 要： みなさんのクリニックではどのような乳幼児健診を行っていますか？

その中にコメディカルスタッフはどのように関わっていますか？

計測や栄養相談、事故防止指導など、さまざまな工夫をされていることと思います。

一方、乳幼児健診に「もっと関わりたい」「何かしたい」と思いつつ、どこから取りかかって良いのか難しく感じているスタッフの方も多いのではないのでしょうか。

このセミナーは、乳幼児健診を幾つかの要素に分け、楽しく興味を持って、積極的に乳幼児健診に関わりたくなるような時間にしたいと考えています。

発達のチェックなら、月齢に沿った遊びを提供して健診を受けたおかあさんやお子さんが楽しく過ごせるようにしたり、育児相談なら、指導をするよりもまずはおかあさんの思いをしっかり聴く時間を作ったり…乳幼児健診の中にはコメディカルスタッフだからこそ出来ることが一杯あります！

職種を問わず、ぜひご参加ください。



【セミナー3】 8月31日⊕ 14:00～16:45

## テーマ：基礎から臨床へ～日常診療を深める最新知見～

コーディネーター：西尾 壽乗（九州大学大学院医学研究院 成長発達医学）

演 者：井原 健二（九州大学小児科）

大賀 正一（九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学）

高田 英俊（九州大学大学院医学研究院 成長発達医学）

西尾 壽乗（九州大学大学院医学研究院 成長発達医学）

原 寿郎（九州大学大学院医学研究院 成長発達医学）

**概 要：** 2012年のノーベル医学生理学賞を山中先生がiPS細胞研究で受賞した。これにより日本中が盛り上がり、医学の基礎的分野が身近に感じられるようになった。しかし、こういった基礎的研究が臨床最前線にどこまで近づいているのか、臨床にどう反映してきているのか、なかなかわかりにくいのが現状である。

そこで、「日常診療を深める最新知見 ～基礎から臨床へ～」と題し、外来小児科診療をさらに深めるべく、比較的難解な内分泌・代謝分野、血液分野、免疫分野、さらに、未だ原因不明の川崎病について、最新知見を入れてわかりやすく説明する。

.....

【セミナー4】 8月31日⊕ 14:00～16:45

## テーマ：クリニックにおける医療安全

### —皆さんのクリニックでの安全対策は万全ですか？—

コーディネーター：齊藤 匡（国保多古中央病院小児科）

演 者：武谷 茂（たけや小児科医院）

齊藤 匡（国保多古中央病院小児科）

**概 要：** 1.誤診、誤療、看護ミスの事例から学ぶ医療安全（武谷）

一つの医療ミスはそれに関わった個人・一施設だけの問題ではない。事故で施設全体の信頼度が低下するのは速く、それを回復するには多くの仲間の努力がいる。他人の事故から目を反らすな！事故の怖さを知っていると無意識のうちに事故を防ぐ工夫をする。演者が経験した救急とプライマリ・ケアにおける症例や新聞報道事例を中心にビジュアル解説を行う。

2.小児科診療所におけるインシデント全国調査（齊藤）

医療安全の面で孤立しがちな診療所の安全性を向上させるためには、多施設で事例を集め、警鐘的事例や予防策等を迅速に共有するシステムが必要である。そこで一昨年11月より本学会の会員を対象に「外来小児科・医療安全のためのホームページSMAP (smappleap.jp)」を開設し、「小児科診療所におけるインシデント全国調査」という名称でインシデント報告を受け付けている。実際の報告方法とこれまでの分析から得られた知見を「転ばぬ先の杖」としてわかりやすく示したい。

【セミナー5】9月1日㊦ 9:00～11:30

## テーマ：すぐに役立つ予防接種の実際

コーディネーター：藤岡 雅司（ふじおか小児科）

演 者：岡田 賢司（国立病院機構福岡病院小児科）  
藤岡 雅司（ふじおか小児科）

概 要： ワクチンは、発病（感染）する前に接種しなければ、その効果を十分に発揮させることはできません。でも、適切な時期に必要な回数を完了できるよう、きちんとおこなうのはけっこう難しいものです。

ワクチンの必要性や副反応の説明、早期接種の勧奨、同時接種による接種スケジュールの提案、予約から接種まで。若い保護者を相手に皆さんはどのようにされていますか。ワクチンの納入と保管、ワクチン液の準備、シリンジの種類、針の太さや長さ、安全に接種するための固定、接種部位の選択、刺入角度や深さ、BCG接種（溶解から乾燥まで）、ロタウイルスワクチンの飲ませ方。私たちはこうしているけど、他の医療機関ではどうしているのかと思いませんか。

演者は地域医療の第一線で、日々予防接種業務にあたっています。現場で実際に働く小児科医として、ミスなく確実に接種するために必要なノウハウのすべてを、映像も交えて具体的にわかりやすくお話しします。

.....

【セミナー6】9月1日㊦ 9:00～11:30

## テーマ：服薬指導に「伝える力」を!!

### ～患者・家族に納得して不安なく服薬していただくために～

コーディネーター：木下 博子（大分こども病院）

演 者：松本 康弘（ワタナベ薬局）  
稲垣 美知代（いながき薬局）  
木下 博子（大分こども病院薬局）  
多田 貴彦（大分県薬剤師会 永富調剤薬局）

概 要： 薬剤師は処方せんから医師の処方意図を読み取り、それを患者へ「伝え」、患者が納得して不安なく服薬できるように支援する役割を担っている。責務を果たすために「伝える力」が必要である。そこで、きちんと「伝える」ために日ごろ行っている取り組みを紹介し、望ましい服薬指導の在り方（薬の飲ませ方も含めて）を考えたい。また、保護者の中には「自分の飲んだ薬（大人の薬）が母乳を介して間接的でも児の体に入るのは怖いから」と、服薬しなかったり、断乳する方もある。このような保護者に正しい知識を「伝える」ために「母乳とくすりハンドブック」の作成に主体的にかかわった薬剤師の取り組みも紹介する。

【セミナー7】9月1日㊦ 13:00～15:30

## テーマ：看護師教育セミナー

コーディネーター：松崎 彰信（まつざき小児科医院）

藤田 紋佳（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

演 者：朝賀 智恵子（くまがいこどもクリニック）

小田嶋 博（国立病院機構福岡病院小児科）

梶原 多恵（北九州市立八幡病院小児救急センター）

概 要： 看護師が早く一人前になるため、子どものためによりよい看護ができるため、医師と共に診療するため、3人の方に看護師教育向けの話しをしてもらいます。

朝賀 智恵子さん（看護師）：本学会ワークショップで議論した後に自院向けにまとめた「新人看護師が早く一人前になるためのオリエンテーションプログラムと小児科外来での看護師の役割全般」について話します。

小田嶋 博さん（医師）：「小児アレルギーエデュケーター制度」により専門知識を持ったコメディカルスタッフを育成し、医師の診断・治療方針決定後に協力して患者教育・生活指導等を行うことでより効果的なアレルギー診療を目指しましょう。

梶原 多恵さん（小児救急看護認定看護師）：第一線の救急現場で勤務し多くの患者を診てきた立場から、「小児科診療所外来におけるトリアージの実際と応用～育児困難から外傷まで～」について話します。

.....

【セミナー8】9月1日㊦ 13:00～14:30

## テーマ：「外来小児科」編集委員会特別企画

### 仲間が知ったら役に立ちそうなことを報告しよう！

コーディネーター：宮崎 雅仁（小児科内科 三好医院）

演 者：宮崎 雅仁（編集委員）

武田 英二（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・臨床栄養学分野）

概 要： 私たちは日常の診療から得られた情報・知識を数多くの人たちと共有するために学会で発表したり、論文にしたりします。折角、年次集会での発表まで漕ぎ着けたのにそれをより広く会員以外の人たちにも発信出来る、そして永久に保存出来る手段である論文にまとめた経験がない方も少なからず居られると思います。今回、編集委員会ではそのような論文を書く事が苦手、書いた事がない初心者向けの論文作成セミナーを企画しました。まず、編集委員会より、実際にあった模範的な投稿例とイエローカード投稿例を参考により良い投稿の仕方について解説します。続いて、特別講演として、「コメディカルのための論文の書き方の基礎知識」（日本病態栄養学会・メディカルレビュー社）の編集主幹も務めておられる武田英二先生に論文・若葉マークの方がリサーチをまとめるコツについて解り易くお話していただきます。

【セミナー9】 8月31日㊥ 14:00～16:45

## テーマ：あまえ療法（その9）いじめの問題とあまえ

コーディネーター：澤田 敬（NPO 法人「カンガルーの会」）

新津 直樹（新津小児科）

藤田 一郎（佐賀大学文化教育学部）

演 者：小池 茂之（小池医院）

概 要： 2004年、第1回WS「あまえ療法」を企画してより毎年強い希望があり続けてきた。昨年の参加者は約120名だった。今回は社会問題になっているいじめを取り上げ、「いじめ問題とあまえ」についてディスカッションをしたい。子どものあまへの原点は乳幼児期にあり、holding（ほっとして雰囲気です心を抱きしめる、Winnicott）、間主観性（心の響き合い、Trevarthen）、情動調律（響き合った行動、Stern）の世界であり、あまえることで心の安全基地（Ainsworth）、基本的信頼（Erikson）を作る。いじめをする子どもの中には、過去・現在、あまえて満たされていなく、虐待を受けている者もいる。いじめは、時には大人の世界にもおこり、親子間にもおこる。虐待は激しいいじめだと思われる。いじめ予防としてのあまえ子育て、いじめを受けた子どものトラウマに対するあまえ療法について皆で考えてみたい。

.....

【特別セミナー】 9月1日㊥ 9:00～11:30

## こどもどこ in 年次集会：「小児科医としての海外活動 ～将来のひとつの選択として考えてみませんか～」

コーディネーター：松尾 幸果（こどもどこ代表・愛知医科大学6年）

概 要： キャリアの選択肢のひとつとして、海外での留学と活動について皆で語り合しましょう。先輩小児科医をお呼びして、海外留学や活動のノウハウと経験談をお聞きします。その後はなんでもありの楽しい座談会とワークショップを行いたいと思っています。海外に目を向けると、こんな勉強と活動の場があるのかと“目からウロコが落ちる”ことまちがいない。来たれ！全国の小児科に魅せられた医学生・研修医。

「こどもどこ」は将来小児医療に携わりたい医学生を中心として2005年に結成されました。毎年年次集会で学生企画を開催しています。小児科志望でないといけない、なんてことはありませんので、周囲の学生さんや初期研修医の皆さんにぜひお声をかけてください。

セミナー担当委員：森田 潤 牟田 広実 （順不同）

E-mail:seminer\_info@sagpj23.org

# ワークショップの参加登録のご案内

**事前参加登録期間：4月14日(日)～5月20日(月)**

今年は8月31日(土)午後、9月1日(日)午前、午後の3つの時間帯に開催します。一方向的な知識伝達ではなく、少人数での双方向性の議論を交わす為に1つのWSの参加人数は40名以内でお願いしています。同じ時間帯に複数のワークショップに参加することは出来ません。WSにより参加定員は異なります。一部のWSでは同一施設からの申込人数に制限があります。

## ■WS 事前登録について

本年次集会のWSの参加登録は、年次集会参加事前登録のサイトではなく、独立した「WS管理システム」で行います。WSご参加の方は年次集会の事前登録もお願いします。年次集会への参加希望の申込みは、年次集会公式ウェブサイト (<http://sagpj23.umin.jp/index.html>) からお願いします。

\*尚、今回のWS参加登録システムは、第22回年次集会事務局の山本 淳さん、佐藤順一さんはじめ横浜の準備委員会のご厚意により、昨年と同様のWS参加システムを使用させていただきました。感謝申し上げます。

## ■申し込み前の確認事項

第23回日本外来小児科学会事務局からのご連絡は [ws-office@future.or.tv](mailto:ws-office@future.or.tv) および [ws\\_info@sagpj23.org](mailto:ws_info@sagpj23.org) から行います。この2つのアドレスからのメールを拒否しないようにしてください。お申し込みの際にご使用のアドレスは公開されませんが、希望されるワークショップのリーダーには伝わります。ワークショップリーダーから参加者に連絡する時にも使われることがあります。WS申し込みは携帯電話のアドレスからも可能です。



(WS 申し込み用の QR コード)

なお、携帯電話の画面に現れるイメージは以下のサンプルとは多少異なります。年次集会公式ウェブサイトから、ワークショップの登録状況(混み具合)をあらかじめ確認できますので参考にしてください。

## ■申し込み方法

ワークショップ管理システムに、連絡先のメールアドレスを登録します。登録予定のアドレスから、[ws-sankakibou@future.or.tv](mailto:ws-sankakibou@future.or.tv) に空メール(タイトルも内容もないメール)を送ってください。5分ほどで、以下のようなメールが届きます。もし届かないときは、迷惑メール(スパムメール)フィルターによって、迷惑メール扱いのボックスに入っていることがあります。webメール(Gmail、yahooなど)をご利用の方はとくにご注意ください。

\*\*\*\*\*

ワークショップ参加申込用のメールアドレスを確認しました。

確認したメールアドレス: [fukuoka.gairai@shounika.nakasu.ne.jp](mailto:fukuoka.gairai@shounika.nakasu.ne.jp)

引き続き、下記のリンクにアクセスしてください。

<http://ws.webserv.jp/workshop/app/receipt.cgi?em=fukuoka.gairai%40shounika.nakasu.ne.jp.z>

なお、このメールに返信しても管理者には届きません。

ワークショップ事務局 <[ws-office@future.or.tv](mailto:ws-office@future.or.tv)>

\*\*\*\*\*

メールの指示に従って、リンク先にアクセスしてください。

(リンク行が長いので自動折れ設定をしている方はつなげてください)

すると以下のような画面が表示されます。

|          |                |
|----------|----------------|
| スケジュール一覧 | <u>8月31日PM</u> |
|          | <u>9月1日AM</u>  |
|          | <u>9月1日PM</u>  |

開催予定の日時をクリックすると、次のように WS 受付サイトが表示されます。

### 9月1日PM・ワークショップ参加希望受付サイト

|   |   |
|---|---|
| お名前   | <input type="text"/>  |
| 職種  | <input type="text"/>  |
| 都道府県  | 未選択 <input type="text"/>  |
|   | <small>ご所属の医療機関と、ご住所の都道府県が異なる場合は、医療機関の所在地を選択してください。</small>   |
| 区市町村  | <input type="text"/>  |
|   | <small>同じく、医療機関のご住所を区市町村単位で入力してください。</small>  |
| 医療機関などの名称   | <input type="text"/>  |
|   | <small>医療機関以外の方もご所属をご記入ください</small>   |
| メールアドレス   | <b>fukuoka.gairai@shounika.nakasu.ne.jp</b><br><small>携帯電話のアドレスでもかまいませんが、ws-office@future.or.tvからのメールを拒否しないように設定しておいてください。</small>                                |
| 登録したアドレスはws-office@future.or.tvからのメールを受信拒否するような設定にはしていませんか？ | <input type="checkbox"/> 受信を拒否していない<br><small>ws-office@future.or.tvからのメールを拒否する設定にしていると、このフォームから送信後の自動返信メールが受け取れません。携帯電話の場合などは拒否設定を解除してから再度フォームに入力してください。</small> |
| 所属医療機関の電話番号   | <input type="text"/>  |
|   | <small>ご連絡がつきにくい場合は、個人の電話番号でもかまいません。その旨、備考欄にお書きください。電話はメールで連絡がつかない場合などに使用します。</small>   |
| ご参加ご希望のワークショップ  | <input checked="" type="checkbox"/> 院長のやる気はスタッフでわかる   |
| 備考 (何かあればご記入ください)   | <div style="border: 1px solid #ccc; height: 60px; width: 100%;"></div>  |
|   | <small>本フォームは1回に1名ずつの登録になります。まとめて数名の登録をしてくださいというリクエストには申し訳ありませんが応じられませんのでご了承ください。</small>   |

次へ

※ご希望のワークショップ参加希望者が既に定員に達している場合、[締切]、[満員] と、薄い表示で表示され、選択できないようになっています。その場合は他の WS をご検討ください。

必要事項を記入して「次へ」をクリックすると次のような画面が表示されます。  
 ※この画面では申し込みは終了していません。必ず右下の「申込」ボタンをクリックしてください。  
 (例：田中一郎さんが「院長のやる気はスタッフでわかる」に参加希望した場合)

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| お名前   | 田中一郎                                 |
| 職種  | 医師                                   |
| 都道府県  | 福岡県                                  |
| 区市町村  | 博多区中洲1-1-1                           |
| 医療機関などの名称   | 中洲診療所                                |
| メールアドレス   | fukuoka.gairai@shounika.nakasu.ne.jp |
| 登録したアドレスは<br>ws-office@future.or.tv<br>からのメールを受信拒否するよ<br>うな設定にはしていませんか？ | 受信を拒否していない                           |
| 所属医療機関の電話番号   | 092-123-4567                         |
| ご参加ご希望のワークショップ  | 院長のやる気はスタッフでわかる                      |
| 備考(何かあればご記入くださ<br>い)  |                                      |

申込

右下の申込ボタンを必ずクリックしてください。

### 9月1日PM・ワークショップ参加希望受付サイト

ワークショップの参加希望(決定ではありません)を受け付けました

と、表示されます。ただし、「ワークショップ参加希望が受け付けられた」ということで、ワークショ  
 ュップ参加が承認されたものではありません。ご注意ください。

すぐに以下のようにメールが送られてきます。

\*\*\*\*\*

ワークショップへの参加希望の申込を受け付けました。

参加が可能かどうかの決定は、リーダーの確認後にお知らせしますので、しばらくお待ちください。

=== 申込内容 ===

開催日時: 9月1日PM

WS名称: 院長のやる気はスタッフでわかる

申込者: 田中一郎様

職種: 医師

都道府県: 福岡県

区市町村: 博多区中洲1-1-1

所属: 中洲診療所

電話番号: 092-123-4567

備考:

\*\*\*\*\*

## ■参加申し込み WS の決定と通知

ワークショップ参加の諾否は第 23 回日本外来小児科学会事務局から連絡いたします。

6月7日(金)になっても本会事務局より連絡がない場合は、第 23 回日本外来小児科学会年次集会ワークショップ担当 (ws\_info@sagpj23.org) までご連絡をお願いします。

## ■WS 情報

はじめに：年次集会の基本は、WS に参加してプロダクト作成に係わることです。しかし、双方向性の議論を交わすため WS には定員があり、全員が WS に参加することはできません。WS の追加募集はありません。もし参加希望の WS がすでに定員に達している場合は、他の WS への参加をご検討していただくか、同時時間帯に開催される教育講演・セミナー・シンポジウムへの出席をお願いします。

### 1、WS の番号、会場

WS-31 : 8月31日(土) 午後の WS を表します。

WS-1A: 9月1日(日) 午前の WS を表します。

WS-1P: 9月1日(日) 午後の WS を表します。

### 2、進め方

研修型：議論や発表の内容を確認しながら討論し、学習内容をまとめて成果とします。

問題解決型：提示された問題について解決策を討論し、その結論を成果とします。

### 3、参加人数

WS に参加できる人数を示しています。

WS により、参加定員は異なります。一部の WS では同一施設からの申込人数に制限があります。

### 4、参加費

無料の WS と有料の WS があります。有料の WS は参加費を WS リーダーかサブリーダーにお支払いください。会計処理は各 WS でお願いします。

### 5、当日参加の可否

当日参加「不可」の WS は事前登録者のみが参加できます。必ず事前登録をお願いします。当日参加「空きがあれば可」の WS でも事前登録の方で既に定員に達している場合は当日参加できません。出来るだけ事前登録することをお勧めします。また、WS によっては当日参加者枠を用意している WS もあります。

### 6、対象者

参加者の職種に制限を設けている WS があります。お申し込みの際には十分ご注意ください。また対象者外の方が WS に申し込まれますと、参加をお断りする事があります。

### 7、アンケート

全ての WS リーダーならびに参加者を対象としたアンケート調査を実施いたします。

連絡先：第 23 回日本外来小児科学会年次集会 WS 担当

<担当委員> 杉村 徹、高岸 智也、深澤 満、牟田 広実、森田 潤、山口 覚（五十音順）

<問い合わせ先> 杉村 徹、高岸 智也 ws\_info@sagpj23.org



# ワークショップ

8月31日(土) 14:00～16:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

| WS番号    | テーマ  | リーダー名 | 定員 |
|---------|--|-------|----|
| WS31-1  | 小児救急初療コース  | 茂木恒俊  | 30 |
| WS31-2  | 事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを作ってみよう (A)                        | 島田 等  | 20 |
| WS31-3  | 服薬指導への取り組みその12「失敗例から学ぶ服薬指導」                              | 高橋 肇  | 40 |
| WS31-4  | 多職種で取り組むプレパレーション   | 永野和子  | 40 |
| WS31-5  | 小児科医のための中耳炎診療マニュアル (2013)                                | 土田晋也  | 15 |
| WS31-6  | 「放射線の小児の健康への影響」について勉強しませんか？                              | 吉田 均  | 40 |
| WS31-7  | 小児医療の中での保育士の役割を学び活用してみませんか？<br>ー医療保育ネットワークからの提案ー         | 安武優史  | 30 |
| WS31-8  | 臍ヘルニアの治療について考えてみませんか                                     | 鈴江純史  | 30 |
| WS31-9  | 予防接種制度の地域格差を考える  | 松浦伸郎  | 30 |
| WS31-10 | 模擬患者さんを相手に、禁煙の声掛けをしてみよう！                                 | 牟田広実  | 16 |
| WS31-11 | 外来診療でアプリを有効利用しよう！  | 林 啓一  | 40 |
| WS31-12 | 「ごほうびシールを作ろう！」～服薬動機を高めるために～                              | 齋藤栄二  | 40 |
| WS31-13 | 子どもの足を考える パート6「子どもたちの足や靴から、歩育、ノルディック・ウォークを考える」           | 松田 隆  | 40 |
| WS31-14 | クリニックでイベントを開催してみませんか？<br>～患者さんに寄り添う医療のために～               | 塩野千春  | 30 |
| WS31-15 | お母さんがたへ、効率よく情報を伝えるテクニック その2.<br>短くても効果的な説明のシナリオを作ってみませんか | 島田 康  | 30 |
| WS31-16 | クリニック外来での食物経口負荷試験  | 福岡圭介  | 40 |

# ワークショップ

9月1日(日) 8:45～11:30 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

| WS 番号   | テ ー マ  | リーダー名 | 定員 |
|---------|--|-------|----|
| WS1A-17 | 一緒に治していこう小児喘息～よりよい吸入支援を目指して～                                 | 上荷裕広  | 40 |
| WS1A-18 | アドラー心理学ワークショップ「他者を勇気づけて暮らす」(その3)                             | 高柳滋治  | 30 |
| WS1A-19 | 人の振り見てわが振りなおせ  | 藤田 位  | 15 |
| WS1A-20 | これからの1か月健診を考える(その3)<br>～魅力ある1か月健診は小児科で～                      | 金子淳子  | 40 |
| WS1A-21 | 「電子カルテ検討会開発プロジェクト ANNYYS<br>～YouTubeを使って説明します。～(電子カルテ検討会主催)」 | 清水 健  | 40 |
| WS1A-22 | 外来看護の検討(7)<br>子どもの予防接種教育をやってみよう(その2)                         | 川口千鶴  | 40 |
| WS1A-23 | 事務スタッフの悩み・工夫   | 須藤伸至  | 40 |
| WS1A-24 | WISC を体験してみよう(その3)   | 高田 修  | 40 |
| WS1A-25 | 事務スタッフが関わる予防接種の業務<br>～その2.予防接種受付チェックシートを作ってみよう               | 加藤篤子  | 30 |
| WS1A-26 | 外来小児科における臨床心理士の役割と可能性について考える                                 | 安東大起  | 20 |
| WS1A-27 | やってみよう、小児漢方!<br>よりよい漢方薬の服薬指導を考える                             | 森 蘭子  | 30 |
| WS1A-28 | 外来小児科の“おもちゃ”を考えませんか?   | 森 庸祐  | 30 |
| WS1A-29 | マイコプラズマ感染症のエビデンスを探る  | 中村 豊  | 20 |
| WS1A-30 | 発達検査を学ぼう!パート3<br>～WISC-IVを通して解る今どきの子ども達の姿～                   | 蜂谷明子  | 20 |
| WS1A-31 | 小児科外来での母乳育児支援  | 田村吉子  | 30 |
| WS1A-32 | 吃音(どもり)の子と親に対する接し方について考える                                    | 片山邦弘  | 30 |

# ワークショップ

9月1日(日) 13:00～15:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

| WS番号    | テ ー マ  | リーダー名 | 定員 |
|---------|--|-------|----|
| WS1P-33 | 林住期（51～75歳）に人生の特等席を得るために<br>－「坂の上の坂」を如何にして下るかを考える－ | 村上直樹  | 25 |
| WS1P-34 | 子どもの貧困を考える part3                                   | 和田 浩  | 40 |
| WS1P-35 | 地域に根ざした子どもホスピスの創造<br>－外来小児科との連携の可能性を探る－            | 濱田裕子  | 40 |
| WS1P-36 | 受診行動の分析と理想の形                                       | 阿真京子  | 20 |
| WS1P-37 | 家族志向の小児ケアを実践しよう                                    | 田中久也  | 24 |
| WS1P-38 | 事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを<br>作ってみよう (B)              | 島田 等  | 20 |
| WS1P-39 | Bottom-up で創る“理想の小児科後期研修”                          | 荒川明里  | 40 |
| WS1P-40 | 「現場の声を形にしよう！」 質的研究のススメ（入門編）                        | 齊藤 匡  | 30 |
| WS1P-41 | 子どもとメディア～小児科医が行うメディア漬け予防～                          | 佐藤和夫  | 30 |
| WS1P-42 | ワクチン時代の嘔吐・下痢症と経口補水<br>～現場の感覚で問題点を話し合いましょう～         | 南 武嗣  | 40 |
| WS1P-43 | 湿潤療法を学ぼう   | 岡田清春  | 40 |
| WS1P-44 | 電話対応を考えよう  | 福井聖子  | 40 |

8月31日 土 14:00～16:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|   |     |                                 |   |     |
|---|-----|---------------------------------|---|-----|
| <b>WS31-1</b>   |     | <b>リーダー</b><br>茂木恒俊（飯塚病院 総合診療科） | <b>サブリーダー</b><br>岩元二郎（飯塚病院小児科）、一ノ瀬英史（飯塚病院 飯塚・穎田家庭医プログラム）、松口崇史（飯塚病院 飯塚・穎田家庭医後期研修プログラム） |     |
| <b>小児救急初療コース</b>  |     |                                 |   |     |
| 参加人数定員  | 対象  | 医師・看護師・<br>薬剤師<br>医学生（4年生以上）    | 当日参加  | 不可  |
| 1施設からの定員<br>制限なし  | 参加費 | 無料                              | 進め方   | 研修型 |
| <p>【趣旨】緊急度や重症度が高い患児を適切にトリアージし、見逃してはいけない疾患、見た目から全身状態が悪い子どもを早く発見し、適切な初期対応を行いながら相談、連絡する能力を身につける。帰宅可能な軽症疾患に対する対応も学習します。コースをとおしてトリアージや発熱などのシナリオ症例に対するロールプレイを体験しながら楽しく学習します。</p> <p>【到達目標】救急外来にて緊急性、重症度が高い疾患を持った患児をトリアージし、適切な処置を施しながら早急に相談・連絡できる。帰宅可能な軽症疾患に対し初期対応ができる。患児の家族に対し、適切な病状説明ができる。</p> |     |                                 |   |     |

|   |     |                             |                              |       |
|---|-----|-----------------------------|------------------------------|-------|
| <b>WS31-2</b>   |     | <b>リーダー</b><br>島田 等（しまだ小児科） | <b>サブリーダー</b><br>萩野里美（崎山小児科） |       |
| <b>事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを作ってみよう（A）</b>   |     |                             |                              |       |
| 参加人数定員  | 対象  | 事務                          | 当日参加                         | 不可    |
| 1施設からの定員<br>制限あり2人  | 参加費 | ¥500                        | 進め方                          | 問題解決型 |
| <p>土日2日間2枠で行います。連続参加が基本ですが、どちらかの一方の参加も可能です。事務スタッフの新人教育のためのオリエンテーションプログラムを参加者で事前調査も含めて作り上げることが目的です。事前調査からの検討過程で、施設の事務スタッフの業務を見直したり、チェックしたりできるような会にしたいと思います。1日目の（A）では、施設の理念やスタッフの基本姿勢から始め、保険診療の仕組みや施設のシステム、具体的な業務についてプログラムを検討します。</p> |     |                             |                              |       |

|   |     |                                  |  |       |
|---|-----|----------------------------------|--|-------|
| <b>WS31-3</b>   |     | <b>リーダー</b><br>高橋 肇（はじめこどもクリニック） | <b>サブリーダー</b><br>高橋めぐみ（はじめこどもクリニック）、坂井美千子（さかい薬局グループ） |       |
| <b>服薬指導への取り組みその12「失敗例から学ぶ服薬指導」</b>  |     |                                  |  |       |
| 参加人数定員  | 対象  | 制限なし                             | 当日参加   | 不可    |
| 1施設からの定員<br>制限あり2人  | 参加費 | 無料                               | 進め方  | 問題解決型 |
| <p>今回は「失敗例から学ぶ服薬指導」をテーマとしました。事前アンケートを行い、手順を踏んで十分に説明しているにも関わらず服薬に失敗した症例やミス、ヒヤリハット症例を取り上げ、原因や対処法を検討してみたいと思います。また、最近調剤機器進歩が著しく、スマホのお薬手帳アプリや水薬の自動分注器などが発売されています。お勧めできる調剤機器についても取り上げてみたいと思います。今回は最近の副作用症例を検討しましたが、服薬指導への取り組みWSでは、医師を含めたスタッフを説得できるようにWS内でデータを収集し、患児や母親の意見や要望をなるべく拾い上げた服薬指導内容にするように努めてまいりました。（外来小児科2012：15：107-109）地道な活動の積み重ねで、成果が出るまで、複数回のWS開催となっておりますが、ご参加をお待ちしています。</p> |     |                                  |  |       |

|   |     |                                   |  |       |
|---|-----|-----------------------------------|--|-------|
| <b>WS31-4</b>   |     | <b>リーダー</b><br>永野和子（みるく病児保育室 保育士） | <b>サブリーダー</b><br>木下博子（大分こども病院 薬剤師）、松本康弘（ワタナベ薬局 薬剤師）、宮成めぐみ（大分こども病院 保育士）、稲垣美知代（いながき薬局 薬剤師） |       |
| <b>多職種で取り組むプレパレーション</b>   |     |                                   |  |       |
| 参加人数定員  | 対象  | 制限なし                              | 当日参加   | 不可    |
| 1施設からの定員<br>制限なし<br>(同一職種の複数人参加は不可)   | 参加費 | 無料                                | 進め方  | 問題解決型 |
| <p>こどもたちは、病気や検査、治療などに対しさまざまな不安やストレスを抱えている。プレパレーションとは、それらに対し発達に合わせた説明を行うことで、こころの準備を促し、こどもや親の対処能力を引き出そうとすることである。そのため、プレパレーションはこどもや家族のQOLの向上を目指すための1つの方法として小児医療の現場においても積極的に導入されている。医療機関にはさまざまな職種がおり専門性も異なっている。その専門性を生かし多職種が協働することで、より良いプレパレーションが実践できると考える。そこで、保育士、医師、薬剤師、看護師、検査技師、栄養士などが互いの専門性を持ち寄り、こどもにとっての最良のプレパレーションを考案するWSを企画した。今回は服薬・採血・食事に関するプレパレーションツールの作成を目標とし、その評価は次回以降に行う。</p> |     |                                   |  |       |

8月31日 土 14:00～16:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|                                       |     |                       |                                      |   |
|---------------------------------------|-----|-----------------------|--------------------------------------|---|
| <b>WS31-5</b>                         |     | リーダー<br>土田晋也 (つちだ小児科) | サブリーダー<br>荒井宏治 (あらいこどもクリニック/眼科クリニック) |   |
| <b>小児科医のための<br/>中耳炎診療マニュアル (2013)</b> |     |                       |                                      |   |
| 参加人数定員                                | 対象  | 医師                    | 当日参加                                 | 不可  |
| 15人                                   |     |                       |                                      |   |
| 1施設からの定員<br>制限なし                      | 参加費 | 無料                    | 進め方                                  | 問題解決型   |
|                                       |     |                       |                                      | 「小児科医のための中耳炎診療マニュアル (外来小児科 2000;3:273-286)」が発表されて13年がたちます。この間、様々な医療機器、薬剤、そして小児急性中耳炎に対する診療ガイドラインが国内外から発表されました。第20回年次集会 (2010) のワークショップでは改定すべき点について議論を尽くしました。これをうけて今回、「小児科医のための中耳炎診療マニュアル (2013)」を上程します。現場のご意見と経験を反映させて投稿したいと考えていますので、皆様方のご協力をお願いします。 |

|   |     |                            |  |   |
|---|-----|----------------------------|--|---|
| <b>WS31-6</b>                           |     | リーダー<br>吉田 均 (よしだ小児科クリニック) | サブリーダー<br>武藤一彦 (むとう小児科)、松浦俊人 (まつうら小児科)、<br>金井英子 (小児科医) |   |
| <b>「放射線の小児の健康への影響」<br/>について勉強しませんか?</b> |     |                            |  |   |
| 参加人数定員                                  | 対象  | 制限なし                       | 当日参加   | 不可  |
| 40人                                     |     |                            |  |   |
| 1施設からの定員<br>制限なし                        | 参加費 | 無料                         | 進め方  | 問題解決型   |
|   |     |                            |  | 放射線被ばくについて、患者さんから次のような質問をされたことはありませんか。「放射線はどの程度危険なのでしょう?」「鼻血などの症状は放射線が原因なのでしょう?」「甲状腺がんが心配ですが・・・」「水や食物はどうしたらよいのでしょうか?」「今のところに住み続けても大丈夫でしょうか?」「医療被ばくは危険なのでしょう?」その時自信を持って答えることができましたか。WSでは放射線のリスクについて多くの論文をもとに基礎から勉強します。それをもとに医療者としてどのように対応すべきか、みんなで話し、正確な情報を正しく伝えられるようになりたいと思います。 |

|   |     |                             |  |   |
|---|-----|-----------------------------|--|---|
| <b>WS31-7</b>   |     | リーダー<br>安武優史 (いけざわこどもクリニック) | サブリーダー<br>岡田健治 (つちだ小児科)、<br>森川智恵子 (いけざわこどもクリニック) |   |
| <b>小児医療の中での保育士の役割を学び<br/>活用してみませんか?<br/>—医療保育ネットワークからの提案—</b> |     |                             |  |   |
| 参加人数定員  | 対象  | 看護師・<br>保育士・事務              | 当日参加   | 不可  |
| 30人   |     |                             |  |   |
| 1施設からの定員<br>制限あり 2人   | 参加費 | 無料                          | 進め方  | 問題解決型   |
|   |     |                             |  | 近年医療の中での保育士の重要性がとりだされています。保育士であってもさまざまな保育が考えられます。外来だけでなく、病児や病後児での保育のあり方をみなさんとともに学び、医療の現場で今私たちが出来ること、これから先できることを考えながら医療の中での保育士の役割を考えたいと思います。また、他職種との情報交換は保育士の質の向上にもつながるので、保育士だけでなく他職種の参加も求めたいと思います。WSの目標は、医療現場で保育士に求められていることを明確にし、今後の業務のあり方を考えることとします。このWSは医療保育ネットワークが開催します。 |

|                                  |     |                            |  |  |
|----------------------------------|-----|----------------------------|--|--|
| <b>WS31-8</b>                    |     | リーダー<br>鈴江純史 (すずえこどもクリニック) | サブリーダー<br>長田伸夫 (ひらおか公園小児科)、藤野佳世 (ふじの小児科<br>クリニック)、富本尚子 (富本小児科内科) |  |
| <b>臍ヘルニアの治療について<br/>考えてみませんか</b> |     |                            |  |  |
| 参加人数定員                           | 対象  | 制限なし                       | 当日参加   | 空きがあれば可  |
| 30人                              |     |                            |  |  |
| 1施設からの定員<br>制限なし                 | 参加費 | 無料                         | 進め方  | 研修型  |
|                                  |     |                            |  | 臍ヘルニアの圧迫療法は施設によって異なるか、しないかに方針が分かれている。本WSでは治療の現状を分析し、方針の違いの理由を考える。治療をする場合にはどのような方法が現時点で採用されて、どの程度の効果があるのかを文献検索や各施設から報告する。WSの中で、具体的な使用材料を用いて圧迫方法を公開し、模擬体験を通じて、治療の注意点やコツなどを会得する。最終的には、治療方法を集約化し、臍ヘルニアの乳児が受診した際の指針となるものを作りたい。積極的に治療をしている施設はもちろん、治療をしていない施設の参加も歓迎します。 |

8月31日 土 14:00～16:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|                        |     |                    |                                      |     |
|------------------------|-----|--------------------|--------------------------------------|-----|
| <b>WS31-9</b>          |     | リーダー<br>松浦伸郎（松浦医院） | サブリーダー<br>川島 崇（川島内科クリニック）、及川 馨（及川医院） |     |
| <b>予防接種制度の地域格差を考える</b> |     |                    |                                      |     |
| 参加人数定員                 | 対象  | 医師                 | 当日参加                                 | 不可  |
| 30人                    |     |                    |                                      |     |
| 1施設からの定員制限なし           | 参加費 | 無料                 | 進め方                                  | 研修型 |
|                        |     |                    |                                      |     |

|                                 |     |                         |   |     |
|---------------------------------|-----|-------------------------|---|-----|
| <b>WS31-10</b>                  |     | リーダー<br>牟田広実（飯塚市立病院小児科） | サブリーダー<br>野田 隆（のど小児科医院）、高橋裕子（奈良女子大学保健管理センター）、伊藤裕子（伊藤内科医院） |     |
| <b>模擬患者さんを相手に、禁煙の声掛けをしてみよう！</b> |     |                         |   |     |
| 参加人数定員                          | 対象  | 制限なし                    | 当日参加  | 不可  |
| 16人                             |     |                         |   |     |
| 1施設からの定員制限なし                    | 参加費 | 無料                      | 進め方   | 研修型 |
|                                 |     |                         |   |     |

|                          |     |                             |                        |         |
|--------------------------|-----|-----------------------------|------------------------|---------|
| <b>WS31-11</b>           |     | リーダー<br>林 啓一（ParkwayHealth） | サブリーダー<br>宝樹真理（たからぎ医院） |         |
| <b>外来診療でアプリを有効利用しよう！</b> |     |                             |                        |         |
| 参加人数定員                   | 対象  | 制限なし                        | 当日参加                   | 空きがあれば可 |
| 40人                      |     |                             |                        |         |
| 1施設からの定員制限なし             | 参加費 | 無料                          | 進め方                    | 問題解決型   |
|                          |     |                             |                        |         |

|   |     |                     |  |       |
|---|-----|---------------------|--|-------|
| <b>WS31-12</b>                          |     | リーダー<br>齋藤栄二（あおば薬局） | サブリーダー<br>松本康弘（ワタナベ薬局上宮永店）、仙敷義和（信栄調剤薬局）、上荷裕広（すずらん調剤薬局） |       |
| <b>「ごほうびシールを作ろう！」<br/>～服薬動機を高めるために～</b> |     |                     |  |       |
| 参加人数定員                                  | 対象  | 制限なし                | 当日参加   | 不可    |
| 40人                                     |     |                     |  |       |
| 1施設からの定員制限あり2人                          | 参加費 | 無料                  | 進め方  | 問題解決型 |
|   |     |                     |  |       |

8月31日 土 14:00～16:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|  |     |   |  |      |      |
|--|-----|---|--|------|------|
| <b>WS31-13</b>   |     | <b>リーダー</b><br>松田 隆 (まつだ小児科医院)  | <b>サブリーダー</b><br>岡空輝夫 (岡空小児科医院)、内田俊彦 (オーソティックス<br>サエティー理事長)、永井恵子 (NPO 法人 WISH 理事長) |      |      |
| <p><b>子どもの足を考える パート6<br/>「子どもたちの足や靴から、歩育、<br/>ノルディック・ウォークを考える」</b></p> |     | <p>子どもの足の異常は、下肢のみならず全身の姿勢や集中力、運動発達など、身体発達全体に影響を与える。昨年までの5回にわたって、最近の子どもの足の状況、小児期からの靴教育の重要性、さらに、「歩いて、自然や社会に触れ、五感を開き、体で学ぶ直接体験を通じて、子ども達の豊かな心、生きていく力を育てる」教育的活動としての「歩育」について学び、子どもの足元に注目し、そこから見えてくること、考えなければならぬことを多職種の方々に啓発してきた。今回は、子どもたちの足や靴についての現状を知っていただき、子どもの足を健やかに育て、生きる力(ライフスキル)を身につけるための歩育、その中でのノルディック・ウォークのあり方などを議論し、子どもたちの生きる力をつけるための方策を検討する。</p> |  |      |      |
|  |     | 参加人数定員<br><b>40人</b>  | 対象   | 制限なし | 当日参加 |
| 1施設からの定員<br>制限なし   | 参加費 | ¥1,000  | 進め方  | 研修型  |      |

|  |     |   |  |      |      |
|--|-----|---|--|------|------|
| <b>WS31-14</b>   |     | <b>リーダー</b><br>塩野千春 (ぼよぼよクリニック)   | <b>サブリーダー</b><br>加藤篤子 (どんぐりこどもクリニック)、門脇聡美 (ぼよぼよ<br>クリニック)、秦 一裕 (ぼよぼよクリニック) |      |      |
| <p><b>クリニックでイベントを開催して<br/>みませんか？<br/>～患者さんに寄り添う医療のために～</b></p> |     | <p>私達は、「患者さんと友達になろう!!」をコンセプトに、診療時間外に育児支援やイベントを開催しています。イベントを通して子ども達や保護者の方との距離が縮む事により、来院しやすく相談しやすいクリニック、地域に密着したクリニックと変化し、患者さんに寄り添う医療の提供につながると考えています。今までに実施した事例の発表を中心に、今後活かせる工夫や可能性をみなさんと一緒に考えてみたいと思います。</p> |  |      |      |
|  |     | 参加人数定員<br><b>30人</b>  | 対象   | 制限なし | 当日参加 |
| 1施設からの定員<br>制限あり 2人  | 参加費 | 無料  | 進め方  | 研修型  |      |

|  |     |   |                                 |       |      |
|--|-----|---|---------------------------------|-------|------|
| <b>WS31-15</b>   |     | <b>リーダー</b><br>島田 康 (しまだ小児科)  | <b>サブリーダー</b><br>小野靖彦 (おの小児科医院) |       |      |
| <p><b>お母さんがたへ、効率よく情報を伝える<br/>テクニック その2.短くても効果的<br/>な説明のシナリオを作ってみませんか</b></p> |     | <p>2012年は、「お母さんがたへ、効率よく情報を伝えるテクニック (WS-B-27)」と題して、家族とのコミュニケーションの一部である、院内の掲示に関してのWSを開催しました。いくつかのアイデアを現在実行しているところもあると考えます。第2回目となる今回は、家族への説明の際に出来る限り「言葉での可視化 (イメージとして浮かびやすい)」を試み、その事で効果的な説明が出来るかを論じてみたいと考えます。秒単位の説明ということで、日々業務としてなされていますNHKのディレクターのかたに、文章作り等のアドバイザーとして今年も参加していただく予定です。</p> |                                 |       |      |
|  |     | 参加人数定員<br><b>30人</b>  | 対象                              | 制限なし  | 当日参加 |
| 1施設からの定員<br>制限あり 2人  | 参加費 | ¥1,000  | 進め方                             | 問題解決型 |      |

|                                 |     |   |                                 |                    |      |
|---------------------------------|-----|---|---------------------------------|--------------------|------|
| <b>WS31-16</b>                  |     | <b>リーダー</b><br>福岡圭介 (福岡小児科アレルギー科)   | <b>サブリーダー</b><br>谷村 聡 (たにむら小児科) |                    |      |
| <p><b>クリニック外来での食物経口負荷試験</b></p> |     | <p>必要最小限の除去食の実施および除去を解除していく過程において、食物経口負荷試験 (以下、OFC と略す) は欠かせないが、全国の小児科基幹病院で OFC を実施しているのは 205 施設に留まり、食物アレルギー患者数 (乳幼児期有病率 5%、小・中・高校生有病率 2.6%) に比べて十分とはいえない。OFC 未実施のまま完全除去食を続けている家庭では、調理や代替食入手の手間や経済的負担だけでなく、微量なアレルゲンの混入でも重篤な症状が惹起されるのだろうか、など心理的負担も大きいことが知られている。OFC を実施し「つなぎ」程度の少量でも解除できれば、家族の心理的負担や、家庭の食の QOL 改善に寄与できることを経験している。今回の WS ではクリニック外来でも可能な OFC の実施方法を模索したい。</p> |                                 |                    |      |
|                                 |     | 参加人数定員<br><b>40人</b>  | 対象                              | 医師・看護師・<br>保健師・栄養士 | 当日参加 |
| 1施設からの定員<br>制限あり 2人             | 参加費 | 無料  | 進め方                             | 問題解決型              |      |

9月1日(日) 8:45~11:30

年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|  |     |                                |   |            |
|--|-----|--------------------------------|---|------------|
| <b>WS1A-17</b>   |     | <b>リーダー</b><br>上荷裕広 (すずらん調剤薬局) | <b>サブリーダー</b><br>齋藤栄二 (あおば薬局)、仙敷義和 (信栄調剤薬局) |            |
| <b>一緒に治していこう小児喘息<br/>~よりよい吸入支援を目指して~</b>   |     |                                |   |            |
| 参加人数定員<br><b>40人</b>   | 対象  | 看護師・保健師・<br>薬剤師・保育士・<br>事務・心理士 | 当日参加  | 不可         |
| 1施設からの定員<br>制限あり <b>1人</b>   | 参加費 | <b>無料</b>                      | 進め方   | <b>研修型</b> |
| <p>小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2012において、喘息治療・管理の基本的な3本柱のひとつに「患者教育」が位置づけられるようになりました。多忙な外来診療においては、「患者教育」をコメディカルが担うことで医師の負担を軽減でき、さらに多職種のコメディカルの連携と協働により綿密な患者フォローが可能となります。まさに「一緒に治していこう小児喘息」です。そこで今回新たに、小児科外来において患者教育を担うことが望まれるコメディカルのために、コメディカルによるWSを企画しました。初回は喘息治療において重要な役割を果たしている吸入を採りあげます。吸入における医師の治療方針をいかにわかりやすく患者さんに伝えればいいのか、また吸入についての不安や誤解をいかにして解決すればいいのか、そして吸入指導や支援において困ったことや長期継続のためにどのような工夫をすればいいのかなどを一緒に考え、学びたいと思います。</p> |     |                                |   |            |

|  |     |                                  |  |              |
|--|-----|----------------------------------|--|--------------|
| <b>WS1A-18</b>   |     | <b>リーダー</b><br>高柳滋治 (はるこどもクリニック) | <b>サブリーダー</b><br>柳本利夫 (やぎもと小児科)、<br>山田進一 (やまだこどもクリニック) |              |
| <b>アドラー心理学ワークショップ<br/>「他者を勇気づけて暮らす」<br/>(その3)</b>  |     |                                  |  |              |
| 参加人数定員<br><b>30人</b>   | 対象  | <b>制限なし</b>                      | 当日参加   | 空きがあれば可      |
| 1施設からの定員<br>制限なし   | 参加費 | <b>無料</b>                        | 進め方  | <b>問題解決型</b> |
| <p>アドラー心理学は、オーストリアの精神科医であるアルフレッド・アドラーが創始し、その後継者たちが発展させた心理学の理論、思想と治療技法の体系です。アドラーは、診療所での診療のほかに、児童相談所で子育てに困った母親たちの相談をうけたり、家庭や学校における子どもの教育について積極的に活動したことが知られています。ワークショップでは、アドラー心理学の中核である「勇気づけ」の技法を中心に、小グループに分かれて理論と実践を学びます。今回のテーマは、「他者を勇気づけて暮らす」です。外来で出会う子ども、親はもちろん、ともに働くスタッフやまわりの人を勇気づけることについて考え、日々起こりうる様々な出来事に対して、前向きに向かう力を学びましょう。</p> |     |                                  |  |              |

|   |     |                               |   |            |
|---|-----|-------------------------------|---|------------|
| <b>WS1A-19</b>  |     | <b>リーダー</b><br>藤田 位 (藤田小児科医院) | <b>サブリーダー</b><br>日野利治 (日野小児科内科医院)、<br>木下 洋 (関西医科大学医学研究センター) |            |
| <b>人の振り見てわが振りなおせ</b>  |     |                               |   |            |
| 参加人数定員<br><b>15人</b>  | 対象  | <b>医師</b>                     | 当日参加  | 不可         |
| 1施設からの定員<br>制限なし  | 参加費 | <b>無料</b>                     | 進め方   | <b>研修型</b> |
| <p>今回で7回目の開催です。私たちは先輩の見様見まねで診察技法を学んできましたが、子どもや保護者にはどのように見えているのでしょうか？ひょっとしたら独善に陥っているかもしれない診察技術を今見直したいと思いませんか？このWSでは自分の診察場面をビデオに撮って持参してもらい、WS参加者やOSCE指導医や患者代表の方と一緒に診察技術について評価していきます。外来小児科医に求められる診察技術とは何かをみんなで検討していきましょう。今回も日本外来小児科学会教育検討会との共催で行います。</p> |     |                               |   |            |

|  |     |                             |   |              |
|--|-----|-----------------------------|---|--------------|
| <b>WS1A-20</b>   |     | <b>リーダー</b><br>金子淳子 (金子小児科) | <b>サブリーダー</b><br>金原洋治 (かねはら小児科)、藤野 浩 (藤野医院)、<br>藤田一郎 (佐賀大学) |              |
| <b>これからの1か月健診を考える<br/>(その3)<br/>~魅力ある1か月健診は小児科で~</b>   |     |                             |   |              |
| 参加人数定員<br><b>40人</b>   | 対象  | <b>制限なし</b>                 | 当日参加  | 空きがあれば可      |
| 1施設からの定員<br>制限なし   | 参加費 | <b>無料</b>                   | 進め方   | <b>問題解決型</b> |
| <p>1か月健診は発達のkey ageではないが、先天的な異常を含めた疾病の早期発見や母乳栄養のチェック、生後早期から始まるワクチン接種の勧奨、さらに産後うつ病など母親のメンタルヘルス支援や愛着形成支援の機会として重要な意味を持ちます。過去2回のWSでは、1か月健診を小児科でおこなうメリットや健診内容の充実に向けての取り組み、さらに公費助成導入への道筋などについて検討してきました。今回のWSでは、参加施設の“粋”を持ち寄った健診内容のブラッシュアップと、小児科でおこなう1か月健診を普及させるための取り組みを検討することを目的とします。</p> |     |                             |   |              |



9月1日(日) 8:45~11:30

年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|  |     |                              |   |         |
|--|-----|------------------------------|---|---------|
| <b>WS1A-21</b>   |     | <b>リーダー</b><br>清水 健 (しみず小児科) | <b>サブリーダー</b><br>田村有広 (たむらこどもクリニック)   |         |
| <p><b>「電子カルテ検討会開発プロジェクト ANNYYS<br/>— YouTube を使って説明します。—<br/>(電子カルテ検討会主催)」</b></p> |     |                              | <p>外来小児科学会開発プロジェクト ANNYYS は誰でもどこでも誰にでも使えるような電子カルテを目指して開発しています。昨年は危機管理についてWSを行い参加者には好評でした。今回は使い方の理解しやすい方法として、YouTubeを用いて説明しようと思います。受付の方の参加も多いため、受付事務などを中心に使い方の説明を改めて行いたいと思います。また日医標準レセプトソフト orca の接続方法などについて説明します。</p> |         |
| 参加人数定員   | 対象  | 制限なし                         | 当日参加  | 空きがあれば可 |
| 40人  |     |                              |   |         |
| 1施設からの定員   | 参加費 | ¥500                         | 進め方   | 研修型     |
| 制限なし   |     |                              |   |         |

|  |     |                                    |  |       |
|--|-----|------------------------------------|--|-------|
| <b>WS1A-22</b>   |     | <b>リーダー</b><br>川口千鶴 (順天堂大学 医療看護学部) | <b>サブリーダー</b><br>及川郁子 (聖路加看護大学)、山本美佐子 (四日市看護医療大学)、長谷川桂子 (前岐県立看護大学)   |       |
| <p><b>外来看護の検討 (7)<br/>子どもの予防接種教育を<br/>やってみよう (その2)</b></p> |     |                                    | <p>予防接種の種類や回数が増え、外来にも多くの子どもが予防接種に訪れます。昨年のワークショップでは、子どもが自分の体や健康に興味を持つきっかけとなり、またいやな体験が少しでも前向きに自分の健康を考える機会となるような看護師のかかわりについて、2~3歳、4~6歳の幼児と小学1年生、小学2年生~6年生の3つのプログラムをご紹介しました。しかし、お集まりいただいたみなさまから、現実では予防接種の業務が忙しく子どもたちにこのプログラムを通して関わることは難しいとのご意見をいただきました。今回は、忙しい業務の中で予防接種を受けにきた子どもたちにどのようなかかわりができるのか、3つのプログラムの実践例から具体的にみなさまと一緒に可能な方法について考えてみたいと思います。</p> |       |
| 参加人数定員   | 対象  | 医師・看護師                             | 当日参加   | 不可    |
| 40人  |     |                                    |  |       |
| 1施設からの定員   | 参加費 | 無料                                 | 進め方  | 問題解決型 |
| 制限あり2人   |     |                                    |  |       |

|                            |     |                                  |   |         |
|----------------------------|-----|----------------------------------|---|---------|
| <b>WS1A-23</b>             |     | <b>リーダー</b><br>須藤伸至 ((株) いながき薬局) | <b>サブリーダー</b><br>塩野千春 (ぼよぼよクリニック)、寺田ともゑ (シロアムこどもクリニック)  |         |
| <p><b>事務スタッフの悩み・工夫</b></p> |     |                                  | <p>このWSは、学会への参加経験の少ない事務スタッフを対象に、WSを疑似体験するWSです。待ち時間の工夫や事務スタッフの悩みという身近なテーマを取り上げ、改善策や対策を考えてみましょう。少人数のグループ会議を行い、参加者が負担無く発言できる、気軽な楽しい会にしたいと思います。目標は、参加者に学会参加の充実感と楽しさを感じてもらい、今回の討議の中から、次なるWSのテーマやリーダーが生まれることです。『当日参加を主にしたいので、前登録は20名までとします。当日参加は先着順に定員に達するまで受付します。』</p> |         |
| 参加人数定員                     | 対象  | 事務                               | 当日参加  | 空きがあれば可 |
| 40人                        |     |                                  |   |         |
| 1施設からの定員                   | 参加費 | 無料                               | 進め方   | 研修型     |
| 制限あり2人                     |     |                                  |   |         |

|                                   |     |                                |  |     |
|-----------------------------------|-----|--------------------------------|--|-----|
| <b>WS1A-24</b>                    |     | <b>リーダー</b><br>高田 修 (たかだこども医院) | <b>サブリーダー</b><br>佐久間秀人 (佐久間内科小児科医院)、多田香苗 (愛育こどもクリニック)、佐藤秀明 (自閉症ピアリンクセンターここねっと)   |     |
| <p><b>WISC を体験してみよう (その3)</b></p> |     |                                | <p>発達障害を持つ子どもたちは、その診断名だけでは括れない個性や特性を持っています。そのため、適切な支援をするためには、個々の多様性に基づいて、その子の抱える困難さを理解をする必要があります。WISC検査は診断のためというよりも、個々の特性を理解するのに非常に有用な検査です。しかしながら、通常の臨床場面では、その結果は言語性や動作性のIQおよび群指数だけで示される事が多いと思われれます。さらに上位の検査結果であるプロフィール分析を解釈して始めて、その子の特性を「よさ」の観点からより正しく理解できると言えます。過去2回のワークショップでは、このプロフィール分析の構造を知り、その重要性を理解するところまで進みました。3回目である今回は、プロフィール分析に基づいて適切な支援方法を検討できるようになることを目指し開催します。</p> |     |
| 参加人数定員                            | 対象  | 制限なし                           | 当日参加   | 不可  |
| 40人                               |     |                                |  |     |
| 1施設からの定員                          | 参加費 | ¥2,000                         | 進め方  | 研修型 |
| 制限なし                              |     |                                |  |     |

9月1日(日) 8:45~11:30

年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|   |     |   |   |       |  |
|---|-----|---|---|-------|--|
| <b>WS1A-25</b>  |     | <b>リーダー</b><br>加藤篤子 (どんぐりこどもクリニック)  | <b>サブリーダー</b><br>萩野里美 (崎山小児科)、島田 等 (しまだ小児科) |       |  |
| <b>事務スタッフに関わる予防接種の業務<br/>～その2.<br/>予防接種受付チェックシートを作ってみよう</b> |     | このWSは、数年かけて事務スタッフに関わる予防接種の業務に関する共通マニュアルを作ることが目標です。2回目の今回は、昨年検討した業務の実態や問題点をさらに細かく洗い出します。完成したマニュアルの何処の部分に期待するか、どんな使い方をしたいかなど、マニュアルの設計も進めます。さらに予防接種の受付の現場で役に立つチェックシートを作りたいと思っています。 |   |       |  |
| 参加人数定員  | 対象  | 事務  | 当日参加  | 不可    |  |
| 30人   |     |   |   |       |  |
| 1施設からの定員<br>制限あり2人  | 参加費 | ¥500  | 進め方   | 問題解決型 |  |

|  |     |   |  |         |  |
|--|-----|---|--|---------|--|
| <b>WS1A-26</b>                           |     | <b>リーダー</b><br>安東大起 (野間こどもクリニック)  | <b>サブリーダー</b><br>田所純子 (もりもとこどもクリニック)、<br>鈴木 絢 (野間こどもクリニック) |         |  |
| <b>外来小児科における臨床心理士の<br/>役割と可能性について考える</b> |     | 前回のWSでは、外来小児科における心理士の業務の現状を総論的に参加者と共有し、等身大の心理士像をあぶり出すことを目的とした。その結果、各心理相談室の施設規模やケースの状況、児童デイサービス併設の有無などが話し合われ、その中で直面している課題が明らかとなった。現時点での課題には、1. カウンセリングの希望者が増え続け、依頼があっても早急な対応が難しいこと2. 地域機関との連携や業務の分担3. 外来小児科で勤務する心理士のネットワークが十分に形成されていないことなどが挙げられた。前回のWSでは総論的となったが、今回は、特に「クリニックにおける発達障害児への心理的な支援」についての絞りを、いくつかの実践例を報告し、発達障害児が受診した際のインテークシートやアセスメントツール、学校や園などの他機関との連携(ケースワーク)、実際の支援について、話し合う予定である。また、前回の続編になるWSを目指し、外来小児科における臨床心理士の役割や課題、そして可能性を参加者で考えることができれば幸いと思っている。クリニックにおける心理士の発達障害児への支援を描き出すことを目標にWSで協議したいと考えている。 |  |         |  |
| 参加人数定員                                   | 対象  | 制限なし  | 当日参加   | 空きがあれば可 |  |
| 20人                                      |     |   |  |         |  |
| 1施設からの定員<br>制限なし                         | 参加費 | 無料  | 進め方  | 問題解決型   |  |

|  |     |  |   |     |  |
|--|-----|--|---|-----|--|
| <b>WS1A-27</b>                           |     | <b>リーダー</b><br>森 蘭子 (森こどもクリニック)  | <b>サブリーダー</b><br>杉原 桂 (多摩ガーデンクリニック)、大口展生 (おおぐちこどもクリニック)、坂崎弘美 (さかさぎこどもクリニック) |     |  |
| <b>やってみよう、小児漢方！<br/>よりよい漢方薬の服薬指導を考える</b> |     | 漢方薬を処方する小児科医が増えています。しかし、子どもが漢方薬を上手に飲むのは難しいという声も聞きます。このWSでは、「子どもへ漢方薬の服薬指導ができるようになる」ことを目標に、実際の漢方薬を手に取り、具体的な服薬指導方法を学びます。そのまま飲ませる時のコツ、どんなものに混ぜると飲ませやすくなるのか、混ぜる時のタブー、粉薬以外の製剤の利用など、実物を用いて皆さんで試行錯誤しながら、服薬指導をマスターしましょう。初めて開催した昨年のWSでは、飲みやすくなる組み合わせを学んだり、西洋薬を飲む時には有効な方法も漢方薬では飲みにくくなるケースがあることなどを体験しました。一人でも多くの子どもたちが漢方薬の恩恵に与れるよう、医療者側の服薬指導のスキルの向上を目指します。 |   |     |  |
| 参加人数定員                                   | 対象  | 医師・看護師<br>・薬剤師   | 当日参加  | 不可  |  |
| 30人                                      |     |  |   |     |  |
| 1施設からの定員<br>制限あり2人                       | 参加費 | ¥500   | 進め方   | 研修型 |  |

|                                  |     |   |  |         |  |
|----------------------------------|-----|---|--|---------|--|
| <b>WS1A-28</b>                   |     | <b>リーダー</b><br>森 庸祐   | <b>サブリーダー</b><br>福武典子 (たはらクリニック)、<br>館野里江子 (森医院こどもクリニック) |         |  |
| <b>外来小児科の“おもちゃ”を<br/>考えませんか？</b> |     | 良質なおもちゃは、こどもの考える力や発達を促し、一緒に遊ぶ家族や友達とのコミュニケーション能力を育む成長に不可欠な大切なパートナーです。では、どんなおもちゃが良いおもちゃなのでしょう？実際におもちゃを手に取りながら、小児科外来に置きたいおもちゃ、こどもや保護者たちにおすすめしたいおもちゃ、プレパレーションツールとしてのおもちゃ、おもちゃのメンテナンス etc、みんなで考えませんか？外来小児科スタッフが推薦する“イイ”おもちゃリスト(&その理由)が作れたら素敵だなあ、と考えています。このWSでは、東京おもちゃ美術館の「移動おもちゃ美術館」や「ホスピタル・キャラバン」で実際に使われているおもちゃの数々をお借りして討論する予定です。おもちゃを真面目にそして熱く検討しますので、興味のある方はぜひご参加下さい。なお、参加者には事前アンケートをお願いする予定です。 |  |         |  |
| 参加人数定員                           | 対象  | 制限なし  | 当日参加   | 空きがあれば可 |  |
| 30人                              |     |   |  |         |  |
| 1施設からの定員<br>制限なし                 | 参加費 | ¥1,000  | 進め方  | 問題解決型   |  |

|                            |     |                                   |  |         |
|----------------------------|-----|-----------------------------------|--|---------|
| <b>WS1A-29</b>             |     | <b>リーダー</b><br>中村 豊 (ゆたかこどもクリニック) | <b>サブリーダー</b><br>加地はるみ (加地医院)、伊藤純子 (虎ノ門病院) |         |
| <b>マイコプラズマ感染症のエビデンスを探る</b> |     |                                   |  |         |
| 参加人数定員                     | 対象  | 医師・歯科医師<br>・学生                    | 当日参加                                       | 空きがあれば可 |
| 20人                        |     |                                   |  |         |
| 1施設からの定員                   | 参加費 | 無料                                | 進め方  | 問題解決型   |
| 制限なし                       |     |                                   |  |         |

|   |     |                                      |   |     |
|---|-----|--------------------------------------|---|-----|
| <b>WS1A-30</b>  |     | <b>リーダー</b><br>蜂谷明子 (蜂谷医院小児科)        | <b>サブリーダー</b><br>木谷秀勝 (山口大学教育学部 附属教育実践センター) |     |
| <b>発達検査を学ぼう！パート3<br/>～WISC-IVを通して解る今どきの<br/>子ども達の姿～</b> |     |                                      |   |     |
| 参加人数定員  | 対象  | 制限なし<br>(WISC-IIIにある程度<br>の基礎知識がある方) | 当日参加  | 不可  |
| 20人   |     |                                      |   |     |
| 1施設からの定員  | 参加費 | ¥2,000                               | 進め方   | 研修型 |
| 制限あり2人  |     |                                      |   |     |

|                      |     |                                  |   |       |
|----------------------|-----|----------------------------------|---|-------|
| <b>WS1A-31</b>       |     | <b>リーダー</b><br>田村吉子 (田村こどもクリニック) | <b>サブリーダー</b><br>古川隆子 (とみもと小児科クリニック)、古賀浩子 (古賀小児科)、森本雄次 (もりもとこどもクリニック) |       |
| <b>小児科外来での母乳育児支援</b> |     |                                  |   |       |
| 参加人数定員               | 対象  | 制限なし                             | 当日参加  | 不可    |
| 30人                  |     |                                  |   |       |
| 1施設からの定員             | 参加費 | 無料                               | 進め方   | 問題解決型 |
| 制限あり1人               |     |                                  |   |       |

|                                       |     |                                  |                                    |         |
|---------------------------------------|-----|----------------------------------|------------------------------------|---------|
| <b>WS1A-32</b>                        |     | <b>リーダー</b><br>片山邦弘 (福岡記念病院 小児科) | <b>サブリーダー</b><br>菊池良和 (九州大学 耳鼻咽喉科) |         |
| <b>吃音(どもり)の子と親に対する<br/>接し方について考える</b> |     |                                  |                                    |         |
| 参加人数定員                                | 対象  | 制限なし                             | 当日参加                               | 空きがあれば可 |
| 30人                                   |     |                                  |                                    |         |
| 1施設からの定員                              | 参加費 | 無料                               | 進め方                                | 問題解決型   |
| 制限あり1~2人                              |     |                                  |                                    |         |

9月1日(日) 13:00～15:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|   |     |   |  |         |
|---|-----|---|--|---------|
| <b>WS1P-33</b>  |     | <b>リーダー</b><br>村上直樹 (医療法人あゆみ会 村上こどもクリニック) | <b>サブリーダー</b><br>濱野良彦 (医療法人元気が湧くこどもの歯科)、<br>藤木 榮 (藤木こども医院) |         |
| <b>林住期 (51～75歳) に<br/>人生の特等席を得るために<br/>～「坂の上の坂」を如何にして下るかを考える～</b> |     |   |  |         |
| 参加人数定員  | 対象  | 医師・<br>歯科医師                               | 当日参加   | 空きがあれば可 |
| 25人   |     |   |  |         |
| 1施設からの定員<br>制限なし  | 参加費 | ¥1,000                                    | 進め方  | 研修型     |
|   |     |   |  |         |

|                         |     |                                |                                     |         |
|-------------------------|-----|--------------------------------|-------------------------------------|---------|
| <b>WS1P-34</b>          |     | <b>リーダー</b><br>和田 浩 (健和会病院小児科) | <b>サブリーダー</b><br>武内 一 (耳原総合病院/佛教大学) |         |
| <b>子どもの貧困を考える part3</b> |     |                                |                                     |         |
| 参加人数定員                  | 対象  | 制限なし                           | 当日参加                                | 空きがあれば可 |
| 40人                     |     |                                |                                     |         |
| 1施設からの定員<br>制限なし        | 参加費 | ¥500                           | 進め方                                 | 問題解決型   |
|                         |     |                                |                                     |         |

|   |     |                                     |  |         |
|---|-----|-------------------------------------|--|---------|
| <b>WS1P-35</b>                                  |     | <b>リーダー</b><br>濱田裕子 (九州大学大学院 医学研究院) | <b>サブリーダー</b><br>京極新治 (小さな診療所)、<br>中山英樹 (桜坂なかやまこどもクリニック) |         |
| <b>地域に根ざした子どもホスピスの創造<br/>ー外来小児科との連携の可能性を探るー</b> |     |                                     |  |         |
| 参加人数定員  | 対象  | 制限なし                                | 当日参加   | 空きがあれば可 |
| 40人   |     |                                     |  |         |
| 1施設からの定員<br>制限なし                                | 参加費 | 無料                                  | 進め方  | 問題解決型   |
|   |     |                                     |  |         |

|                     |     |   |  |         |
|---------------------|-----|---|--|---------|
| <b>WS1P-36</b>      |     | <b>リーダー</b><br>阿真京子 (一般社団法人 知ろう小児医療守ろう子ども達の会) | <b>サブリーダー</b><br>佐山圭子 (まつしま病院/ひだまりクリニック) |         |
| <b>受診行動の分析と理想の形</b> |     |   |  |         |
| 参加人数定員              | 対象  | 制限なし  | 当日参加                                     | 空きがあれば可 |
| 20人                 |     |   |  |         |
| 1施設からの定員<br>制限なし    | 参加費 | ¥1,000  | 進め方                                      | 問題解決型   |
|                     |     |   |  |         |

|                        |     |                            |  |         |  |
|------------------------|-----|----------------------------|--|---------|--|
| <b>WS1P-37</b>         |     | <b>リーダー</b><br>田中久也 (田中医院) | <b>サブリーダー</b><br>佐古篤謙 (湯郷ファミリークリニック)、<br>木島庸貴 (奈義ファミリークリニック) |         |  |
| <b>家族志向の小児ケアを実践しよう</b> |     |                            |  |         |  |
| 参加人数定員                 | 対象  | 制限なし                       | 当日参加   | 空きがあれば可 |  |
| 24人                    |     |                            |  |         |  |
| 1施設からの定員               | 参加費 | 無料                         | 進め方  | 研修型     |  |
| 制限あり 3人                |     |                            |  |         |  |

2005年から2011年まで「家族志向の小児ケア」について学ぶワークショップを行ってきました。そこでは健康問題を持った子どもとその家族の気持ちや背景を、ロールプレイを通じて疑似体験し、その上で家族とのコミュニケーションの方法を探ってきました。患者家族との連絡や、院内スタッフの情報共有の工夫について多くの意見が出されました(詳細は当該年度学会誌の二次抄録を参照ください)。今回は新たに、患者とその家族の問題に一步踏み込むための具体的な技術を学び、日常診療に役立てるべく「実践編」を企画しました。ロールプレイを通じて家族志向の小児ケアの実践方法を習得しましょう。(注意) シリーズではありませんので、初めて参加される方も心配無用です。また、家族療法を学ぶワークショップではありません。さらに、対象に制限はありませんが、内容から考えて患者とその家族の問題に対して積極的に介入する職種の方が望ましいと思います。

|  |     |                              |                               |       |  |
|--|-----|------------------------------|-------------------------------|-------|--|
| <b>WS1P-38</b>                           |     | <b>リーダー</b><br>島田 等 (しまだ小児科) | <b>サブリーダー</b><br>萩野里美 (崎山小児科) |       |  |
| <b>事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを作ってみよう (B)</b> |     |                              |                               |       |  |
| 参加人数定員                                   | 対象  | 事務                           | 当日参加                          | 不可    |  |
| 20人                                      |     |                              |                               |       |  |
| 1施設からの定員                                 | 参加費 | ¥500                         | 進め方                           | 問題解決型 |  |
| 制限あり 2人                                  |     |                              |                               |       |  |

土日2日間2枠で行います。連続参加が基本ですが、どちらかの一方の参加も可能です。事務スタッフの新人教育のためのオリエンテーションプログラムを参加者で事前調査も含めて作り上げることが目的です。事前調査からの検討過程で、施設の事務スタッフの業務を見直したり、チェックしたりできるような会にしたいと思います。2日目の(B)では、病気以外の子どもの取り巻く問題や学会における調査研究、広報など事務スタッフの業務について検討し、期待される事務スタッフ像を考え、プログラムへの反映を検討します。

|                                       |     |                                |  |         |  |
|---------------------------------------|-----|--------------------------------|--|---------|--|
| <b>WS1P-39</b>                        |     | <b>リーダー</b><br>荒川明里 (さいたま市立病院) | <b>サブリーダー</b><br>松本 亨 (加古川西市民病院 小児科)、<br>後藤 保 (北九州市八幡病院 小児科) |         |  |
| <b>Bottom-up で創る<br/>“理想の小児科後期研修”</b> |     |                                |  |         |  |
| 参加人数定員                                | 対象  | 制限なし                           | 当日参加   | 空きがあれば可 |  |
| 40人                                   |     |                                |  |         |  |
| 1施設からの定員                              | 参加費 | ¥500                           | 進め方  | 問題解決型   |  |
| 制限なし                                  |     |                                |  |         |  |

日本小児科学会事業報告書によると、平成23年度は新規に560名の小児科専門医の認定があった。小児科臨床研修は最低3年間必要であり、すなわち、全国で2000名前後の小児科後期研修医がいることになる。小児科研修施設は現在全国で500余り存在し、小児科学会の小児科専門医制度規則第15条に規定する小児科臨床研修が提供されている。研修内容は小児科医の到達目標・小児科専門医の教育目標に基づいて行われている。しかし、研修の質や経験量は施設間で差異がある事実は否めない。今回、現役の後期研修医および研修に関与する医師などによりワークショップを開催し、後期研修医の期待する研修内容の聴取や、後期研修で経験するべきと思われる内容に関して議論を行い、小児科後期研修のあるべき姿について模索する。

|   |     |                                    |  |         |  |
|---|-----|------------------------------------|--|---------|--|
| <b>WS1P-40</b>                          |     | <b>リーダー</b><br>齊藤 匡 (国保多古中央病院 小児科) | <b>サブリーダー</b><br>前原幸治 (まへはら小児科)、涌水理恵 (筑波大学医学医療系 小児看護学)、西垣佳織 (東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科) |         |  |
| <b>「現場の声を形にしよう！」<br/>質的研究のススメ (入門編)</b> |     |                                    |  |         |  |
| 参加人数定員                                  | 対象  | 制限なし                               | 当日参加   | 空きがあれば可 |  |
| 30人                                     |     |                                    |  |         |  |
| 1施設からの定員                                | 参加費 | 無料                                 | 進め方  | 研修型     |  |
| 制限なし                                    |     |                                    |  |         |  |

質的研究と量的研究は相互に補完しあうことで医療の質の向上に寄与します。今回、質的研究方法検討会では「子宮頸がんなどの任意接種ワクチンの接種率が、公費助成にもかかわらず低迷しているのはなぜか？」という日常臨床における疑問を例題として、研究計画の立て方、個別インタビューやグループインタビューの実際、逐語録データ分析の方法や分析における留意点など、過去に行った研究成果を実際に提示しながら、「科学的根拠に基づく質的研究の展開」を楽しくわかりやすく体験していただく機会をワークショップとして企画しました。質的研究に興味があるけれども今まで触れる機会が無かった初心者・未体験者の方々を大歓迎致します。もちろん職種は問いません。様々な立場や視点から外来小児科における素朴な疑問を解決する方法を是非一緒に体験学習していませんか？

9月1日(日) 13:00～15:45 年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

|                                       |     |                                      |  |       |
|---------------------------------------|-----|--------------------------------------|--|-------|
| <b>WS1P-41</b>                        |     | <b>リーダー</b><br>佐藤和夫 (国立病院機構九州医療センター) | <b>サブリーダー</b><br>内海裕美 (吉村小児科)、<br>川上一恵 (かずえキッズクリニック) |       |
| <b>子どもとメディア<br/>～小児科医が行うメディア漬け予防～</b> |     |                                      |  |       |
| 参加人数定員                                | 対象  | メディア漬け予防の啓発活動を行う小児科医・医療関係者           | 当日参加   | 不可    |
| 30人                                   |     |                                      |  |       |
| 1施設からの定員                              | 参加費 | 無料                                   | 進め方  | 問題解決型 |
| 制限あり 2人                               |     |                                      |  |       |

|   |     |                                |                                   |         |
|---|-----|--------------------------------|-----------------------------------|---------|
| <b>WS1P-42</b>                                  |     | <b>リーダー</b><br>南 武嗣 (みなみクリニック) | <b>サブリーダー</b><br>宇梶光太郎 (うかじ小児科医院) |         |
| <b>ワクチン時代の嘔吐・下痢症と経口補水<br/>～現場の感覚で問題点を話し合おう～</b> |     |                                |                                   |         |
| 参加人数定員  | 対象  | 医師・看護師・その他経口補水に興味のある方          | 当日参加                              | 空きがあれば可 |
| 40人   |     |                                |                                   |         |
| 1施設からの定員  | 参加費 | ¥500                           | 進め方                               | 問題解決型   |
| 制限あり 3人   |     |                                |                                   |         |

|                 |     |                                |   |         |
|-----------------|-----|--------------------------------|---|---------|
| <b>WS1P-43</b>  |     | <b>リーダー</b><br>岡田清春 (おかだ小児科医院) | <b>サブリーダー</b><br>矢嶋茂裕 (矢嶋小児科小児循環器クリニック)、佐久間秀人 (佐久間内科小児科医院)、禹 満 (禹小児クリニック) |         |
| <b>湿潤療法を学ぼう</b> |     |                                |   |         |
| 参加人数定員          | 対象  | 医師・歯科医師                        | 当日参加  | 空きがあれば可 |
| 40人             |     |                                |   |         |
| 1施設からの定員        | 参加費 | 無料                             | 進め方   | 研修型     |
| 制限なし            |     |                                |   |         |

|                  |     |                               |  |         |
|------------------|-----|-------------------------------|--|---------|
| <b>WS1P-44</b>   |     | <b>リーダー</b><br>福井聖子 (大阪小児科医会) | <b>サブリーダー</b><br>田原卓浩 (たはらクリニック)、小迫幸恵 (山口県立大学 看護栄養学部 看護学科)、白石裕子 (日本看護協会看護研修学校) |         |
| <b>電話対応を考えよう</b> |     |                               |  |         |
| 参加人数定員           | 対象  | 制限なし                          | 当日参加   | 空きがあれば可 |
| 40人              |     |                               |  |         |
| 1施設からの定員         | 参加費 | ¥1,000                        | 進め方  | 研修型     |
| 制限あり 2人          |     |                               |  |         |

# 前夜セミナーのご案内

【前夜セミナー①】 8月30日(金) 19:00~20:30

## テーマ：外来で帰してはいけない患児達

会場：福岡国際会議場 第2会場

講師：市川 光太郎（北九州市立八幡病院）

概要：小児科外来は季節性もあるが、多くは繁忙をきわめることが少なくない一方、その受診者の多くはいわゆる軽症である。日本小児科学会小児救急院会の調査によれば、重篤小児の頻度は総受診児の0.09%（日本小児科学会雑誌、2012；116：112-115）である。このような背景から医療側の慢心がつい生じて、緊急度・重症度判断が甘くなってしまうことが少なくない。それは、繁忙時ほどあり、診療時間終了間際に多く、医師の体調不良時などにその判断ミスが起こりやすい。緊急度・重症度の適正な判断は医療安全の面からも不可避な部分である。いかに帰してはいけない患児、すなわち観察が必要な患児、入院治療が必要な患児を外来診療の中で見抜くかは、まさに小児科医の identity に関わる点であり、醍醐味につながる部分でもあるし、何よりも子ども達の安全のためのわれわれの責務であると思われる。症例を通して、帰してはいけない患児達を振り返りましょう。

【前夜セミナー②】 8月30日(金) 19:00~20:30 〈協賛：マルホ株式会社〉

## テーマ：「好感の持たれるメイクアップ」実演講座 ～正しいスキンケアの手法を含めて～

会場：福岡国際会議場 第5会場

講師：佐藤 久美子（株式会社 資生堂 フロンティアサイエンス事業部）

概要：仕事モードのメイクアップとして相応しい色味とは？身だしなみとして患者さんに好感をもたれるメイクアップとは？その手技やポイントをご紹介します。直ぐに役立つ基本的なテクニックなので、是非毎日のメイクアップに取り入れていただければと思います。

また、自己流になっていることが多いスキンケアについてもお話します。スキンケアの手法次第で、肌への効果が変わってきます。スキンケア製品の使用量、使い方、石けんの泡立て方等、お手入れの方法をお伝えいたします。

### ■ウエルカム・パーティー

日時：8月30日(金) 20:30~

会場：国際会議場5階ロビー

参加費：無料

※終了後、博多駅・天神方面へ無料バスを運行します。



# コメディカルミーティングのご案内



## \* 事前登録が必要です \*

登録は以下のアドレスから行ってください。  
<http://sagpj23.umin.jp/participants.html>



**時間：9月1日(日) 9:00～11:30**  
**会場：サンパレス パレスルーム**  
**定員：200名**

コメディカルのみなさん、こんにちは。

日ごろ、職場で直面している問題や、他のクリニックではこんな時どうしてるんだろう？

先輩たちは、どんな働き方をしてきたんだろう？などなど、かしこまらずに情報交換してみませんか。この機会にお友達の輪も広げてください。

小グループに分かれて、自由に討論していただきます。医師は出席しませんので遠慮なく話が出来ると思います。

原則として事前登録が必要ですが、席に余裕があれば当日の参加も可能です。

事前登録は年次集会公式ウェブサイトから行ってください。<http://sagpj23.umin.jp/participants.html>  
携帯電話の場合は、右上のQRコードからアクセスできます。

去年の12月の第13回九州外来小児科学研究会でも、コメディカルミーティングを行いました。2時間半があっという間に過ぎてしまうほど、楽しく実りあるミーティングになりました。

ぜひ、ご参加ください。福岡のみんなで待ってます！

**申込期間 2013年4月8日(月)～8月16日(金)**

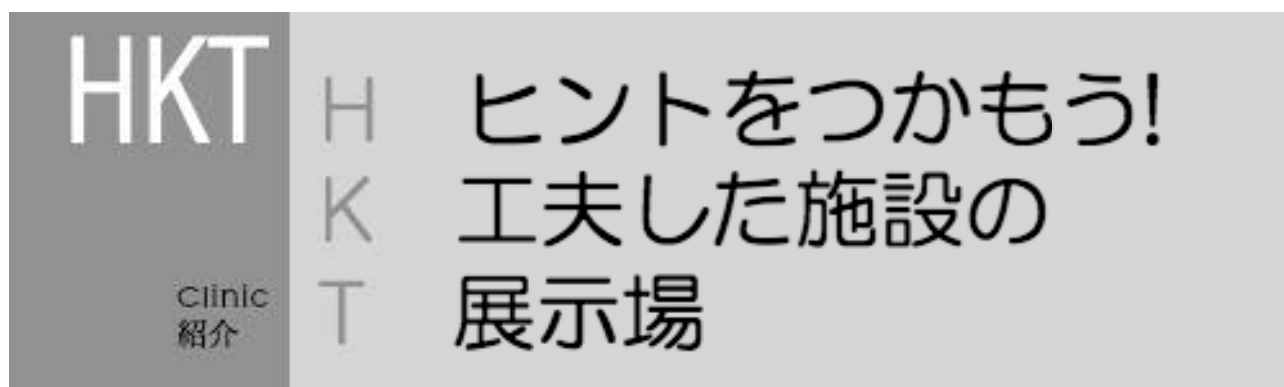
コメディカルミーティング担当：黒川 美知子  
E-mail: [comedinfo@sagpj23.org](mailto:comedinfo@sagpj23.org)



第13回九州外来小児科学研究会でのコメディカルミーティングの様子  
福岡地区周辺から60名が参加されました。



## クリニック紹介 募集要項



### ヒントをつかもう！工夫した施設の、展示場（HKT…）

一般演題として発表するほどの内容ではなくても、それぞれのクリニックにとっての、ちょっとした工夫・アイデアが、他の施設にとっては、とても斬新であったりします。スライドを使って、それぞれのクリニックを紹介していただくことで、一種の“オープンクリニック”を企画してみたいと思います。発表される施設の方には、写真（画像）の送付と当日の発表のみをお願いいたします。

クリニック紹介の写真を、郵送又はメールにて、担当（倉重こどもクリニック）まで送っていただきます。各施設の特徴、アイデア、工夫している所など、ソフト面でもハード面でも、どのような話題でも結構です。（1施設8枚まで）

送っていただいた写真を元に、当院にてスライドを作成いたしますので、当日それを見ながら発表していただきたいと思っております。

1施設、発表3分～5分（発表施設数によって時間配分が変わります。）

クリニック紹介の企画ですので、当日のフロアからの詰問は遠慮していただき、明るく和やかな時間を過ごしたいと思っております。

受付事務さん、看護師さん、保育士さんなど、どなたでも参加OKです。

もちろん、医師の発表も大歓迎です。

発表を希望される方は、年次集会公式ウェブサイトより申込をお願いいたします。

<http://sagpj23.umin.jp/cn18/openclinic.html>

後日、こちらから詳細を連絡させていただきます。

皆様の御参加をお待ちいたしております。

**申込期間：2013年4月8日(月)～5月20日(月)**

担当 倉重 弘（倉重こどもクリニック）

〒806-0047 福岡県北九州市八幡西区鷹ノ巣 2-13-9

E-mail:openclinic\_info@sagpj23.org

# 一般演題募集要項

申込期間：2013年4月8日(月)～5月20日(月)

## ■一般演題について

一般演題の発表形式は原則として口演（PC形式）とポスター発表の**両方**といたします。口演のすべてを聞くことはできないため、ポスターを展示して口演内容をいつでも見ることができるようになっています。ただし、口演時間枠には限りがありますので、応募演題が多数の場合にはポスター発表のみをお願いする場合があります。また、ポスター発表のみを希望される場合には応募時にお申し出ください。日常診療における取組みや現在進行中の研究に関する演題も大歓迎です。

## ■発表形式

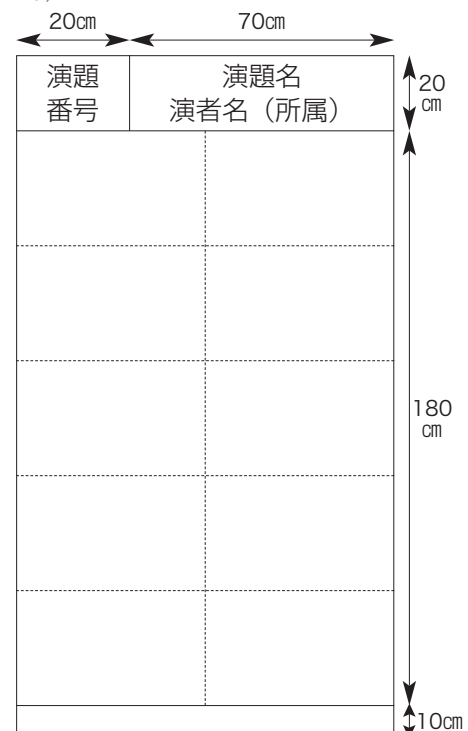
### 1. 口演発表

- ・口演は発表6分、質疑4分の予定です。
- ・口演に使用する機器はPCプロジェクター1基とさせていただきます。
- ・事務局が用意するパソコンOSはWindows 7、発表用ソフトはマイクロソフト社製パワーポイント（PPT）2010です。動画を使用する場合はWindows Media Player（Ver.10以上）で再生されるファイルをご使用になり、ご自身のノートパソコンをお持ちください。なお、音声についてもご利用いただけますので、当日PC受付にお申し出ください。  
Macintoshを使用される場合にはご自身のパソコンとACアダプターをお持ちになり、D-SUB15ピンの端子で接続できるようご準備ください。また、Windows 8を使用される場合にもご自身のパソコンをお持ちください。
- ・ご発表のデータは相互のウイルス感染を防ぐため、できる限りCD-R（CD-R/W、DVDは不可）でお持ちください。USBメモリーでお持ちになる場合には、セキュリティ管理に十分な配慮をお願いいたします。いずれの場合も念のためバックアップデータをご用意ください。
- ・口演日時：8月31日(土)9:00～11:45  
(WSリーダー等をされる方は予定日時などを明記してください。)

### 2. ポスター発表

- ・展示には縦210cm、横90cmのパネルを用意します。
- ・上部縦20cm、横70cmには演題名、発表者名、所属を掲示してください。
- ・発表内容は縦180cm、横90cmの範囲内に要旨、目的、結果、考察、結語の順で収まるように掲示してください。
- ・演題番号表示とプッシュピンは事務局で用意いたします。

図、表を含めスペース：A3用紙10枚程度をお願いします。



## ■ポスター展示

貼 付：8月31日Ⓟ 9：00～12：00  
展示場所：福岡国際会議場5階ロビー  
展示期間：8月31日Ⓟ 12：00～17：00  
：9月1日Ⓡ 9：00～13：00  
撤 去：9月1日Ⓡ 13：00～16：00

## ■申込方法

一般演題は原則として年次集会公式ウェブサイト (<http://sagpj23.umin.jp/participants.html>) からのオンライン登録によって受付いたします。

演者または共同演者のうち少なくとも1名は日本外来小児科学会の会員である必要があります。

## ■演題発表時における利益相反（COI）の開示について

第23回年次集会では平成23年2月に日本医学会が公表した「医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン」に則して、口演およびポスター発表における演題登録の際、利益相反の開示すべき項目の有無について申告いただくことになりました。ご理解の上、よろしくお願いいたします。

### 利益相反の開示すべき項目（日本小児科学会に準ずる）

1. 産学連携活動に係る受け入れ額が、1企業あたり年間200万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合
2. コンサルト、指導、講演、給与としての個人収益が、1企業あたり年間100万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）の場合
3. 産学連携活動に係る個人収益（公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等）が1企業あたり年間100万円以上あった場合（但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）
4. 上記1～3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合

※個人収益の場合は、前年1月1日から12月31日まで、ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に係る研究の場合は、前年4月1日から本年3月30日までの期間でも可。

## ■お問合せ先

一般演題担当 山口 覚・井上 秀一郎  
E-mail: [ippan-endai-info@sagpj23.org](mailto:ippan-endai-info@sagpj23.org)

## ■演題採否等の連絡

演題の採否、発表形式、発表日時等につきましては実行委員会にご一任ください。  
採否につきましては6月末までにご連絡いたします。

# パネル展示募集のご案内

申込期間：2013年4月8日(月)～6月30日(日)

## ■パネル展示の内容

- ①「こどものためのコンダクターになろう」：今回のテーマです。地域や学校等での、こどもの健康福祉のためのご活動をご紹介ください。
- ②院内報ネットワーク他の院内報(誌)：各医療機関で発行している院内報の最新号をそのまま展示します。
- ③医療保育ネットワーク等の展示：外来診療の場での、保育士他のみなさんのご活躍をご紹介ください。
- ④オープンクリニックネットワーク：会員相互にクリニックを訪問し、診療や運営について語り合う活動についてご紹介ください。
- ⑤私の工夫・私の主張：外来診療における様々な工夫や、日頃感じていること、訴えたいことなどをパネルに表現してください。

## ■発表形式

1. ポスター、写真、印刷物は90×210cmパネルに貼付してください。
2. 本や診療の小道具、おもちゃなどの展示はパネル前に幅180×奥行45cm×高さ70cmの机を設置することで可能となります。但し、使用幅はパネル幅と同様幅90cmで、1本の机を2者で共有使用とさせていただきます。
3. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意いたします。

## ■展示場所と時間

福岡国際会議場2階ロビー

8月31日(土) 9:00～17:00

9月1日(日) 9:00～14:00

## ■申込方法

パネル展示は原則として年次集会公式ウェブサイト (<http://sagpj23.umin.jp/participants.html>) からのオンライン登録によって受付いたします。インターネットによる申込みができない場合には担当までご連絡ください。

演者または共同演者のうち少なくとも1名は日本外来小児科学会の会員であることが必要です。また、ご発表の内容が企業の協力を得ていたり、共同研究に該当する場合には、申込みの際に必ずお申し出ください。

パネル展示担当：片山 邦弘

E-mail: [panelinfo@sagpj23.org](mailto:panelinfo@sagpj23.org)

## ■採否等の連絡

1. 採否、展示日は原則として先着順で決定します。応募数が規定数を越えたときはお断りすることもあります。
2. 展示物の搬入・搬出の時間・方法につきましては、展示決定通知の際にご案内いたします。(7月末までにご案内する予定です)
3. 展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関しましては実行委員会では責任を負いません。展示期間中の展示物の保管は実行委員会では行ないません。各出展者にて行ってください。

# 患者家族の会・支援者の会 展示募集

募集期間：2013年4月8日(月)～5月20日(月)

患者家族の会・支援者の会の紹介展示を受け付けます。

## ■展示形式、参加に際してのお願いなど

1. ポスター、写真、印刷物などは、準備委員会で用意する縦 2100mm×横 1800mmに貼付してください。
2. 会の紹介パンフ・書籍・カンパグッズなどは、パネル展示前の机に1卓用意しますので、ご利用ください。
3. カンパ及び署名集めは、会の各ブースでお願いします。資料配布などは、会場係にお声掛けの上通行の妨げにならない範囲でお願いします。
4. ブース展示のための本学会年次集会参加には、参加費は必要ありません。
5. 展示番号とプッシュピンは事務局で用意します。

## ■展示日時など

展示物搬入：8月30日(金) 15:00～17:00

展示場所：福岡国際会議場3F・4F ロビー

展示期間：8月31日(土) 9:00～17:00

9月1日(日) 9:00～13:00

搬出：9月1日(日) 13:00～14:00

※9月1日(日)14:00以降になっても撤去されない場合は、事務局で処分します。

## ■応募方法

「患者家族の会・支援者の会展示のご案内」に添付しております「申込書」に必要事項をご記入の上下記までFAXにてご送付ください。

第23回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

(株)日本旅行 九州法人支店

九州イベントコンベンションセンタープラントウ・ジャパンデスク内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル5F

担当：坂東、槇山、田川

TEL：092-451-0606 FAX：092-451-0550

営業時間：10:00～17:00 (土・日・祝休業)

## ■採否などの連絡

応募が既定数を越えた場合は、お断りすることがあります。

採否は、準備委員会にご一任ください。慎重に検討の上6月12日(水)までにご連絡いたします。

患者家族の会・支援者の会担当：井上 和彦

E-mail:kazoku\_shien\_info@sagpj23.org

# 託児のご案内

4月8日(月)～8月23日(金)

会期中、託児室を準備いたします。ご利用希望の方は下記をお読みいただき、  
FAXにてお申込みください。事前申込のみとさせていただきます。

対 象：生後6カ月～小学生まで  
期 間：8月31日(土) 8:30～17:00 / 9月1日(日) 8:30～16:15  
料 金：両日とも1日2,000円  
会 場：福岡サンパレス  
定 員：両日とも30人  
備 考：昼食・おやつ・飲みものは各自でご用意をお願いします。

## ■申込方法

次頁の「託児室申込書」に必要事項を記載の上、下記の運営事務局宛にFAXにてお申込みください。  
後日、担当より「託児確認書」「同意書」をFAXにてお送りいたします。

※「託児室申込書」は、本日の健康状態欄記入の上、保育初日にご持参ください。

株)日本旅行 九州イベントコンベンションセンター FAX番号：092-451-0550

## ■申込締切

2013年8月23日(金)定員になり次第締切ります。

## ■託児サービス委託先

今回の託児サービスは、株式会社アピカルに委託しております。

## ■お申込み・問合せ先

第23回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

(株)日本旅行 九州法人支店

九州イベントコンベンションセンター プラントウ・ジャパンデスク内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル5F

担当：坂東、槇山、田川

TEL：092-451-0606 FAX：092-451-0550

営業時間：10:00～17:00 (土)(日)(祝)休業)

## 【個人情報取り扱いについて】

保護管理者：株式会社アピカル

利用目的：本サービスにおける保育サービスの提供及び緊急時連絡

提供および委託：株式会社アピカルと学会事務局以外の第三者への提供及び委託はいたしません。

任意性：ご同意頂けなかった場合は、ご利用をお受けできないことがございます。

不測の事故に対応するために、(株)アピカル加入の保険適用範囲で補償いたします。

尚、学会および事務局は事故の責任は負いません。

FAX送付先⇒092-451-0550

## 第23回日本外来小児科学会年次集会 託児申込書

|                         |   |                       |          |
|-------------------------|---|-----------------------|----------|
| フリガナ<br>お子さまお名前<br>(愛称) | 生年月日<br>年齢  | 年 月 日<br>歳 ヶ月         | 血液型<br>型 |
| ご利用時間<br>(チェック☑してください)  | <input type="checkbox"/> 8月31日(土) 8:30 ~ 17:00<br><input type="checkbox"/> 9月1日(日) 8:30 ~ 16:15 |                       |          |
| フリガナ<br>保護者(申込者)氏名      | (印)   |                       |          |
| 連絡先住所                   | <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 (どちらかにチェック☑してください)<br>〒                |                       |          |
| 電話 / FAX                | 電話 - - / FAX - -  |                       |          |
| 緊急連絡電話番号                | - -   |                       |          |
| 本日の健康状態                 | 良好 普通 風邪気味 ( )  |                       | 今朝の体温    |
|                         | その他 ( )   |                       | ℃        |
|                         | 排便はありましたか? はい / いいえ   |                       | 平 熱      |
|                         | 起床 ( : 頃) 最終の食事 ( : 頃)  |                       | ℃        |
| アレルギー等                  | 無 / 有 (有の場合、具体的に詳しくお書き下さい)  |                       |          |
| ミルク                     | 授乳予定時間  | 分量                    | おやつ      |
|                         | :   | CC                    |          |
|                         | :   | CC                    | くすり      |
|                         | :   | CC                    |          |
| :                       | CC  | ※原則として投薬は保護者の方をお願いします |          |
| 排泄について                  | 睡眠について  |                       |          |
| 伝言その他<br>特に留意すること       |   |                       |          |

※ご利用の際、この託児室申込書(捺印必要)を必ずご提出ください。

## ❀ 市民公開講座 ❀

# 子育てハッピーアドバイス

❀ ~自己肯定感を育む子育てを考える~ ❀

❀ 日時：2013年9月1日⑧ 14:00～15:30

❀ 会場：福岡国際会議場 3階 メインホール

【講師】 真生会富山病院 心療内科部長 あけはし だいじ 明橋 大二 先生

【司会】 松本小児科医院 理事長 松本 壽通 先生

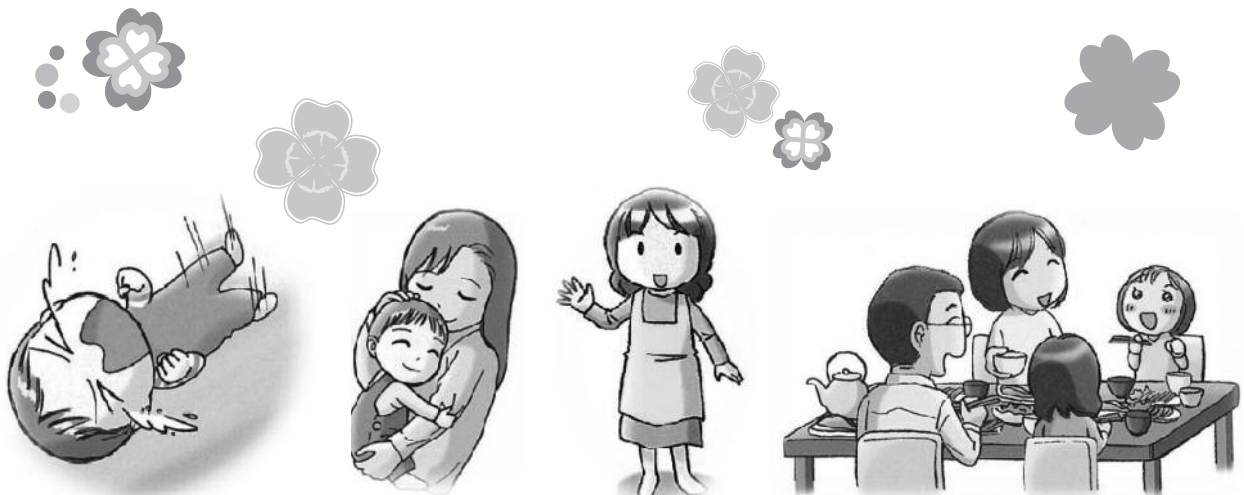


### 【講演内容】

子育てで一番大切なことは、子どもの心に「自己肯定感」を育むこと。「自己肯定感」とは何か、どうしたら育てられるのか、一緒に考えてみませんか？

### 【講師紹介】

京都大学医学部卒業、精神科医、スクールカウンセラー  
「子育てハッピーアドバイスシリーズ」400万部突破 著者





# 宿泊のご案内

**申込期間 4月8日(月)～7月15日(月)(祝)**

宿泊・交通の手配については(株)日本旅行九州イベントコンベンションセンターに委託しています。参加登録と同様、年次集会公式ウェブサイトまたは11頁にある申込書にご記入の上FAXにてお申込みください。

## ■宿泊ホテルについて（1泊朝食付・サービス料・税金込、お一人様の料金）

- ・宿泊設定日：2013年8月30日(金)～9月1日(日)の3日間
- ・ご予約はお申込み順とさせていただきます、ご希望のホテルが満室の場合、他のホテルをご案内申し上げます。
- ・今回ご提供いたしますホテル・料金などは次頁にございますのでご確認ください。
- ・延泊についてはご相談ください。

## ■お申込方法

- ・年次集会公式ウェブサイト (<http://sagpj23.umin.jp/hotels.html>) よりお申込みください。予約確定後、予約確認メールまたは請求書をお送りいたしますので、お手元に届き次第、予約内容を確認の上、お支払期限2013年7月18日(水)までにお支払をお願いいたします。
- ・インターネットによるお申込みが出来ない場合は、11頁の「申込書」に必要事項を記載の上、FAXにてお申込みください。お問合せについては、行き違いを避けるため、必ずFAX・E-mailなどの書面にてお願いいたします。電話での受付はいたしかねますので、何卒ご了承ください。
- ・お申込みの皆様には、通信事務手数料として525円を申し受けます。(お取消しの場合もご返金はいたしかねますのでご了承ください。)

## ■変更取り消し方法

1. 年次集会公式ウェブサイトより変更及び取消をお願いいたします。事前参加登録期間中は、自由に変更・取消が可能です。
2. インターネットによる変更及び取消が出来ない場合のご連絡は、行き違いを避けるため、必ずFAXまたはE-mailなどの書面にてお願いいたします。電話での取扱いは致しかねますので、何卒ご了承ください。

**【変更・取消料】** 旅行開始日からさかのぼって

| 取 消 日 | 4 日 前 | 3 日 前～前日 | 当 日 | 不 泊  |
|-------|-------|----------|-----|------|
| 取 消 料 | 無 料   | 20%      | 50% | 100% |

## ■お支払について

お支払方法は、クレジットカードまたは銀行振り込みのいずれかにてお願いいたします。ご希望のお支払方法をお申し込み時にご選択ください。(参加費とあわせてお支払いいただけます。)

## ■お申込み及びお問合せ

第23回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局

(株)日本旅行九州法人支店 九州イベントコンベンションセンター プラントウ・ジャパンデスク内  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル5F 担当：高田、田川  
TEL：092-451-0606 FAX：092-451-0550 営業時間：10：00～17：00 (土・日・祝休業)  
E-mail：23rd\_sagpj@nta.co.jp

| 地区名      | 番号                | ホテル名                | 部屋タイプ                  | 宿泊料金                    | 申込記号             | 会場までのアクセス          |
|----------|-------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|------------------|--------------------|
| 博多       | ①                 | ホテル日航福岡             | シングル                   | 22,000円                 | 1-S1             | 博多駅博多口より<br>徒歩5分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 17,000円                 | 1-T1             |                    |
|          |                   |                     | ツイン (1名利用)             | 27,000円                 | 1-TS1            |                    |
|          | ②                 | ANA<br>クラウンプラザホテル福岡 | シングル                   | 15,750円                 | 2-S1             | 博多駅博多口より<br>徒歩5分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 13,650円                 | 2-T1             |                    |
|          |                   |                     | ツイン (1名利用)             | 21,000円                 | 2-TS1            |                    |
|          | ③                 | ホテルセントラーザ博多         | シングル                   | 9,500円                  | 3-S1             | 博多駅筑紫口より<br>徒歩1分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 8,000円                  | 3-T1             |                    |
|          | ④                 | デュークスホテル博多          | シングル                   | 8,000円                  | 4-S1             | 博多駅博多口より徒歩1分       |
|          | ⑤                 | ホテルクリオコート博多         | シングル                   | 10,000円                 | 5-S1             | 博多駅筑紫口より<br>徒歩1分   |
| ツイン      |                   |                     | 8,000円                 | 5-T1                    |                  |                    |
| ⑥        | 八百治博多ホテル          | シングル                | 7,100円                 | 6-S1                    | 博多駅博多口より<br>徒歩5分 |                    |
|          |                   | ツイン                 | 6,300円                 | 6-T1                    |                  |                    |
| ⑦        | ホテルコムズ福岡          | シングル                | 7,000円                 | 7-S1                    | 博多駅博多口より<br>徒歩7分 |                    |
|          |                   | ツイン                 | 6,500円                 | 7-T1                    |                  |                    |
| ⑧        | 博多都ホテル            | シングル                | 11,000円                | 8-S1                    | 博多駅筑紫口より<br>徒歩1分 |                    |
|          |                   | ツイン                 | 9,000円                 | 8-T1                    |                  |                    |
| ⑨        | 博多グリーンホテル駅前       | シングル                | 6,720円                 | 9-S1                    | 博多駅筑紫口より徒歩1分     |                    |
| ⑩        | キャナルシティ福岡ワシントンホテル | シングル                | 7,875円 <sup>(※1)</sup> | 10-S1                   | 博多駅博多口より徒歩10分    |                    |
| 中洲       | ⑪                 | グランドハイアット福岡         | シングル                   | 20,000円                 | 11-S1            | 博多駅博多口より<br>徒歩10分  |
|          |                   |                     | ツイン                    | 15,000円                 | 11-T1            |                    |
|          | ⑫                 | ホテルオークラ福岡           | シングル                   | 19,950円                 | 12-S1            | 地下鉄中洲川端駅<br>より徒歩1分 |
|          |                   |                     | ツイン                    | 15,750円                 | 12-T1            |                    |
|          |                   |                     | ツイン (1名利用)             | 24,150円                 | 12-TS1           |                    |
|          | ⑬                 | 博多エクセルホテル東急         | シングル                   | 16,800円                 | 13-S1            | 地下鉄中洲川端駅<br>より徒歩1分 |
|          |                   |                     | ツイン                    | 11,550円                 | 13-T1            |                    |
|          | ⑭                 | IP HOTEL FUKUOKA    | シングル                   | 8,400円                  | 14-S1            | 地下鉄中洲川端駅<br>より徒歩1分 |
|          |                   |                     | ツイン                    | 7,350円                  | 14-T1            |                    |
|          | ⑮                 | デュークスホテル中洲          | シングル                   | 8,295円                  | 15-S1            | 地下鉄中洲川端駅より徒歩4分     |
| 渡辺<br>通り | ⑯                 | ホテルニューオータニ博多        | シングル                   | 17,500円                 | 16-S1            | 博多駅より<br>タクシー5分    |
|          |                   |                     | ツイン                    | 13,500円                 | 16-T1            |                    |
| 天神       | ⑰                 | 西鉄グランドホテル           | シングル                   | 13,650円                 | 17-S1            | 地下鉄天神駅より<br>徒歩3分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 10,500円                 | 17-T1            |                    |
|          | ⑱                 | ソラリア西鉄ホテル           | シングル                   | 13,650円                 | 18-S1            | 地下鉄天神駅より<br>徒歩3分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 10,500円                 | 18-T1            |                    |
|          | ⑲                 | ホテルモントレ ラ・スール福岡     | シングル                   | 10,500円 <sup>(※2)</sup> | 19-S1            | 地下鉄天神駅より<br>徒歩2分   |
|          |                   |                     | ツイン                    | 8,400円 <sup>(※3)</sup>  | 19-T1            |                    |
| ⑳        | ホテルアセント福岡         | シングル                | 6,615円                 | 20-S1                   | 地下鉄天神駅より徒歩3分     |                    |
| ㉑        | 博多グリーンホテル天神       | シングル                | 7,300円                 | 21-S1                   | 地下鉄赤坂駅より徒歩1分     |                    |
| 会場周辺     | ㉒                 | ホテル博多プレイス           | シングル                   | 7,000円                  | 22-S1            | 博多駅よりタクシー10分       |

※1 (8/31泊は3,150円増) ※2 (8/31泊は3,675円増) ※3 (8/31泊は4,200円増)

# 旅行条件

## 1. 募集型企画旅行契約

- (1) この旅行は(株)日本旅行(以下「当社」といいます)が企画・募集し実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。
- (2) 旅行契約の内容・条件は、募集広告、パンフレット、本旅行条件書、本旅行出発前にお渡しする確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部にあります。

## 2. 旅行のお申込みと旅行契約の成立

- (1) 申込書に所定事項をご記入のうえ、お一人様につき下記のお申込金または旅行代金の全額を添えてお申し込みいただきます。申込金は旅行代金、取消料または違約料のそれぞれの一部として取扱います。
- (2) 電話・郵便・ファクシミリその他の通信手段によるお申し込みを受け付けます。この場合、予約の時点では契約は成立しておらず、当社から予約の旨を通知した後、予約の申し込みの翌日から起算して3日以内に、申込書と申込金を提出していただきます。この期間内に申込書と申込金を提出されない場合は、お申し込みはなかったものとして取り扱います。
- (3) 申込金(お一人様につき)

| 旅行代金                 | お申込金       |
|----------------------|------------|
| 20,000円未満            | 5,000円以上   |
| 20,000円以上 50,000円未満  | 10,000円以上  |
| 50,000円以上 100,000円未満 | 20,000円以上  |
| 100,000円以上           | 旅行代金の20%以上 |

- (4) 募集型企画旅行契約は、契約の締結を承諾し前(3)の申込金を受領したときに成立したものとします。
- (5) 通信契約による旅行契約は、お申込を承諾する通知を發した時に成立します。ただしe-mail等の電子承諾通知による方法により通知する場合は、その通知がお客様に到達したときに成立するものとします。

## 3. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって14日前にあたる日より前にお支払いいただきます。

## 4. 旅行中止の場合

ご参加のお客様が当パンフレットに明示した最小催行人員に満たない場合、当社は旅行の催行を中止する場合があります。この場合、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日前にあたる日(日帰り旅行は3日前)より前に連絡させていただき、お預かりしている旅行代金の全額をお返しします。

## 5. 旅行代金に含まれるもの及び含まれないもの

- (1) パンフレットに記載された旅行日程に明示された交通費、宿泊費、食事代、入場料、消費税等諸税、空港施設使用料及び添乗員同行費用が含まれます。
- (2) 旅行日程に記載のない交通費等の諸費及び個人的性質の諸費用は含まれません。

## 6. お客様による旅行契約の解除

- (1) お客様は、いつでも次に定める取消料(お一人様につき)をお支払いいただき、旅行契約を解除することができます。この場合、すでに収受している旅行代金(あるいは申込金)から所定の取消料を差し引き払い戻しいたします。申込金のみで取消料がまかなえないときは、その差額を申し受けます。

| コース                      | 取消料       |           |
|--------------------------|-----------|-----------|
|                          | 宿泊付旅行     | 日帰り旅行     |
| ① 21日前に当たる日以前の解除         | 無料        | 無料        |
| ② 20日前に当たる日以降の解除(③~⑦を除く) | 旅行代金の20%  | 無料        |
| ③ 10日前に当たる日以降の解除(④~⑦を除く) | 旅行代金の20%  | 旅行代金の20%  |
| ④ 7日前に当たる日以降の解除(⑤~⑦を除く)  | 旅行代金の30%  | 旅行代金の30%  |
| ⑤ 旅行開始の前日の解除             | 旅行代金の40%  | 旅行代金の40%  |
| ⑥ 旅行開始の当日の解除             | 旅行代金の50%  | 旅行代金の50%  |
| ⑦ 旅行開始後の解除又は無連絡不参加       | 旅行代金の100% | 旅行代金の100% |

- (2) なお、取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた日とします。
- (3) お客様のご都合で出発日、コース、宿泊ホテル等を変更される場合にも上記の取消料が適用されます。
- (4) 宿泊のみご予約になった場合

|        | 不泊   | 当日  | 前日  | 2日前 | 3日前 | 4日前 | 5日前 | 6日前 | 7日前 | 8日前~20日間 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 1~14名  | 100% | 50% | 20% | 無料  |     |     |     |     |     |          |
| 15~30名 | 100% | 50% | 20% | 無料  |     |     |     |     |     |          |
| 31名以上  | 100% | 50% | 30% |     |     | 10% |     |     |     |          |

## 7. 個人情報の取扱について

- (1) 当社及び下記「販売店」欄記載の受託旅行者(以下「販売店」)は、旅行申込みの際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送、宿泊機関等の手配およびそれらのサービスの受領のために必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社、当社グループ会社(会社名等はホームページをご参照ください)および販売店では、①取り扱う商品、サービス等のご案内②ご意見、ご感想の提供・アンケートのお願い③統計資料の作成。にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。
- (3) このほか当社の個人情報の取り扱いに関する方針については、当社のホームページ(<http://www.nta.co.jp>)でご確認ください。

## 8. ご旅行条件・ご旅行代金の基準

この旅行条件は、2013年3月1日を基準としています。また旅行代金は、2013年3月1日現在の有効な運賃・規則を基準としています。

### 【国内旅行傷害保険加入のおすすめ】

安心してご旅行をしていただくため、お客様自身で保険をかけることをおすすめいたします。

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認のうえお申し込み下さい。

## 旅行企画・実施

### (株)日本旅行 九州法人支店

観光庁長官登録旅行業第2号  
 (社)日本旅行業協会正会員  
 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号  
 日本生命博多駅前ビル5階  
 TEL 092-451-0606 FAX 092-451-0550  
 営業時間: ①~④ 9:30~17:30 (⑤⑥⑦は休業)  
 総合旅行業務取扱管理者: 田井 一功



旅行業公正取引  
協議会 会員

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店(営業所)での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取り扱い管理者にお尋ねください。

# 日本外来小児科学会への入会手続き

※学会会場での入会手続きはできません。

## 2011年8月27日改定

入会を希望される方は、入会申込書に所定の事項を記入した上で、学会事務局へお申込みください。役員会の承認を経て、入会決定を通知します。承認後、入会金と年会費を納入してください。以上の手続き全てが終了した時点で会員となります。

### ■入会手続き手順

1. 学会ホームページより入会申込書をダウンロードしてください。  
申込書は、学会誌や年次集会プログラムなどにも添付してありますので、そのコピーでも結構です。
2. 「申込書」の項目に記入し、学会事務局にお送りください。
3. 学会役員会（年4回開催）の入会審査で承認されますと、学会事務局より2週間以内に承認通知と入会金・年会費請求書をお送りいたします。
4. 入会金3,000円と当該年度の年会費を指定口座に納入してください。  
年会費は、診療所・病院開設者は15,000円、それ以外の方は10,000円です。
5. 入会手続き終了です。

#### 〈会員の推薦〉

推薦文と推薦者署名は必須記載事項ではありません。

#### 〈入会金に関して〉

入会に関しての諸経費としてお願いします。また、変更にも手数料がかかりますので（個々の会員には請求していませんが）、大学などより出向中の方は、出来れば固定した住所をご登録ください。

#### 〈役員会承認に関して〉

入会には、役員会での承認が必要です。役員会は基本的には年4回（2月・5月・8月・11月頃）開催されています。

#### 〈年会費〉

当学会の会計年度は、1月1日から12月31日までです。

11月頃に開催されます理事会で入会が承認された場合は、入会年度を御自身でお決めの上、ご入金ください。12月までに手続きが完了すれば、当該年度の会誌をお送りします。次年度からの会費納入の場合は、新年度の発行号からの送付となります。

### ■日本外来小児科学会会員であれば

- ・学会会誌の送付（年4回予定） ※2004年度は3回発行です。
  - ・「SAGPJ Newsletter」の送付（年2回予定）
  - ・公募している検討会への参加
  - ・外来小児科ネットワークへの参加
  - ・年次集会の際のワークショップへの原則としての優先登録（ただし受け付け期日内のみ）
- ★検討会やネットワークへの参加には、原則として日本外来小児科学会会員である事が条件です。

### ■日本外来小児科学会・事務局（入会事務取扱先）

東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル  
株式会社 春恒社 学会事業部内 TEL:03-5291-6231 FAX:03-5291-2176

# 入会申込書

平成 年 月 日

日本外来小児科学会 会長 殿

貴学会の目的に賛同し入会を申し込みます。

氏名：<sup>ふりがな</sup> 氏名： 1.男 2.女 大正 昭和 年 月 日生  
(自署)

勤務先：診療所・病院開設者 <sup>ふりがな</sup> 名称  
上記以外  
【会員種別にもチェック印を必ず記入して下さい】

〒- <sup>ふりがな</sup> 都道府県 区郡市

TEL： FAX：  
E-mail：

自宅住所 〒- <sup>ふりがな</sup> 都道府県 区郡市

TEL： FAX：

※勤務先、自宅のどちらかに郵便送付先として印を入れて下さい。

職種： 1.小児科医 専門医 2.他科の医師 (専門： )  
3.その他(具体的に )  
※小児科学会専門医の方はに印をつけて下さい。

所属学会(医会)：日本小児学会 日本小児保健学会 日本小児科医会  
※に印をつける。 その他(具体的に )

自薦文(入会して何をしたいかをお書き下さい)：  
.....  
.....  
.....

興味のある分野に印をつけてください 診療 教育 研究 社会活動 その他 ( )

※以下(推薦文、推薦人)は、必須ではありません

推薦文：  
.....  
.....

ここに \_\_\_\_\_ 氏を日本外来小児科学会会員に推薦致します。

平成 年 月 日 日本外来小児科学会会員 氏名 (自署)

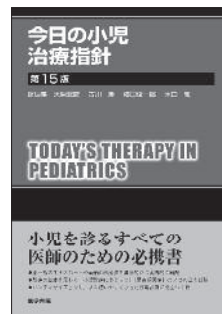
◎小児を診るすべての医師のための必携書

## 今日の小児治療指針 第15版

総編集 大関武彦・古川 漸・横田俊一郎・水口 雅

小児に関わる全領域を網羅し、第一線のエキスパートが最新の治療法を具体的かつ実践的に解説。今版では小児診療の際に押さえておきたい基本知識をまとめた「小児診療にあたって」、思春期に特有の問題を取り上げた「思春期医療」の2つの章を新設。ハンディサイズとなり、より使いやすくなった日常診療に役立つ1冊。

●A5 頁1028 2012年 定価16,800円(本体16,000円+税5%) [ISBN978-4-260-01231-7]



◎新生児医療に携わるすべての方へ

## 新生児学入門 第4版

仁志田博司

看護学生、助産学生はもとより、臨床看護師、助産師、専門医に広く親しまれてきた本書は、新生児医療に携わる際の基本的な考えをまとめたサブテキスト。今回の改訂では全体に情報を刷新し、「産科医療補償制度」や「早期からの積極的栄養法」「骨形成と骨代謝」など、新しい項目を追加した。新生児を愛してやまない著者のその思想とともに、新生児学の奥深さをお届けする。

●B5 頁464 2012年 定価6,090円(本体5,800円+税5%) [ISBN978-4-260-01433-5]



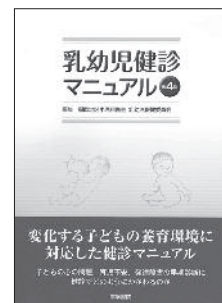
◎子どもの心、育児不安、発達障害など、新しい問題への解説も追加

## 乳幼児健診マニュアル 第4版

編集 福岡地区小児科医会 乳幼児保健委員会

高い水準と活発な活動で全国的に有名な、福岡地区小児科医会による好著の改訂版。本書1冊でひとりの健診を実践できる内容となっている。今版では子どもの心の問題、育児不安、発達障害に関する解説も追加。随所に配されたコラムでは乳幼児をとりまく最近の話題もわかりやすく述べられている。

●B5 頁164 2011年 定価3,360円(本体3,200円+税5%) [ISBN978-4-260-00877-8]



◎学生のニーズにくまなくこたえる

## 標準小児科学 第7版

監修 森川昭廣 / 編集 内山 聖・原 寿郎・高橋孝雄

“学生に必要な知識が何でも載っている”「標準小児科学」、3年ぶりの改訂。今版から本文中にカラー写真を盛り込み、また好評の「やってはいけないこと」(禁忌)も充実、視覚的理解がさらに容易になった。最新で高度な内容を紹介する「アドバンス」「参考となるホームページ」欄を収載、研修医や専門医を目指す小児科医にも十分読み応えのある内容に仕上がっている。

●B5 頁768 2009年 定価9,240円(本体8,800円+税5%) [ISBN978-4-260-00694-1]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

[販売部] TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

ロイコトリエン受容体拮抗剤 一気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

# オノン<sup>®</sup>ドライシロップ10%

ブランルカスト水和物ドライシロップ

ONON<sup>®</sup> drysyrup

薬価基準収載

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等、  
詳細は製品添付文書をご参照ください。



資料請求先



**小野薬品工業株式会社**

〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

111201



ウイルスワクチン類

薬価基準未収載

生物由来製品 | 劇薬 | 処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

## サーバリックス<sup>®</sup>

Cervarix<sup>®</sup> 組換え沈降2価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン  
(イラクサギンウバ細胞由来)

※「効能・効果」、「用法・用量」、「接種不適当者を含む接種上の注意」、「効能・効果に関連する接種上の注意」、「用法・用量に関連する接種上の注意」等につきましては、添付文書をご参照ください。

販売提携(資料請求先)

**ジャパンワクチン株式会社**

東京都千代田区四番町6

製造販売元(輸入)

**グラクソ・スミスクライン株式会社**

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15

2012年7月作成



気管支喘息治療薬/ロイコトリエン受容体拮抗薬 (薬価基準収載)

**シングレア**® 細粒4mg  
チュアブル錠5mg  
**SINGULAIR**® (モンテルカストナトリウム細粒/チュアブル錠)  
(montelukast sodium, MSD)

本剤のご使用にあたり、【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌を含む使用上の注意】、【用法・用量に関連する使用上の注意】等については、製品添付文書をご参照ください。



MSD

製造販売元 [資料請求先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア  
<http://www.msd.co.jp/>

2010年8月作成 08-15-SGA-10-J-A14-J



5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン  
ウイルスワクチン類

薬価基準適用外

生物由来製品 | 劇薬 | 処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

**ロタテック**® 内用液

RotaTec® 生物学的製剤基準

【効能・効果】、【用法・用量】、【効能・効果に関連する接種上の注意】、【用法・用量に関連する接種上の注意】、【接種不適当者を含む接種上の注意】など詳細については、製品添付文書をご参照ください。



MSD

製造販売元 [資料請求先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア  
<http://www.msd.co.jp/>

2012年12月作成 RTQ12AD112-1217



SANOFI PASTEUR 



不活化ポリオワクチン(ソークワクチン) ウイルスワクチン類


# イモバックスポリオ<sup>®</sup>皮下注

生物由来製品 IMOVAX POLIO<sup>®</sup> subcutaneous

●薬価基準適用外

劇薬 処方せん医薬品<sup>※</sup> 注)注意—医師等の処方せんにより使用すること  生物学的製剤基準

★「効能・効果」「用法・用量」「接種上の注意」等については製品添付文書をご覧ください。  
★資料は当社医薬情報担当者にご請求ください。

詳しくは製品情報  
サイトをご覧ください。 

2013年2月作成 JP.IVX.13.03.02 (IVX022D)

製造販売: **サノフィ株式会社**

〒163-1488  
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

## 年次集会事務局

---

### いなみつこどもクリニック

〒819-0041 福岡市西区拾六町 3-8-13 1F

E-mail : info@sagpj23.org

## 年次集会運営事務局

---

### (株)日本旅行 九州法人支店

九州イベントコンベンションセンター  
プランドウ・ジャパンデスク内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-1

日本生命博多駅前ビル 5F

TEL : 092-451-0606 FAX : 092-451-0550

E-mail : 23rd\_sagpj@nta.co.jp



GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと  
Do more, feel better, live longer



## 喘息治療配合剤

処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

# アドエア<sup>®</sup>

100ディスク<sup>®</sup> 28・60吸入用  
50エアゾール<sup>®</sup> 120吸入用

Adoair<sup>®</sup> Diskus<sup>®</sup>/Aerosol

サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル  
ドライパウダーインヘラー・エアゾール



※「効能・効果」、「用法・用量」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

**グラクソ・スミスクライン株式会社**

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先

TEL : 0120-561-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)

FAX : 0120-561-047 (24時間受付)